

目 次

目 次	1
I. 2011（平成 23）年度の主な活動	3
* 2011（平成 23）年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II - 1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II - 2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III - 1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	9
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	11
4) 3階展示室	18
III - 2 特別展示	21
1) 自主企画展	21
2) 共催展等	23
* 2011（平成 23）年度特別展一覧	28
3) 京都府民ギャラリー事業への協力	29
III - 3 映 画	30
1) 常設上映	30
2) 特別企画・共催事業	31
3) 映像ギャラリー常設展示	34
4) 京都府映像文化センター運営委員	34
III - 4 その他	35
IV. 調査研究活動	36
IV - 1 学芸員の活動	36
1) 研 究	36
2) 出講・委嘱	36
3) 業 績	36
V. 普及活動	39
V - 1 出版物	39
1) 研究紀要『朱雀』	39
2) 年報	39
3) 展覧会図録	39

V - 2	講演会・音楽会	40
1)	講演会など	40
2)	音楽会	41
V - 3	学習普及活動	44
1)	ボランティア	44
2)	「ぶんぱく子ども教室」事業	44
3)	団体見学案内	46
V - 4	博物館実習	47
V - 5	資料・情報公開	47
1)	資料閲覧室	47
2)	ホームページによる広報とコンテンツの提供	47
V - 6	外部連携活動	48
1)	他館との連携	48
2)	地域との連携	48
V - 7	京都文化博物館友の会	50
1)	会 員	50
2)	事業概要	51
VI.	ギャラリー事業	53
VI - 1	5・6階展示室	53
1)	京都文化財団展示室運営委員会	53
2)	美術・工芸作家の利用	53
3)	生涯学習的発表期間の利用	54
4)	一般の利用	55
VI - 2	別館ホール	56
VII.	管理・運営	57
VII - 1	組織と職員	57
1)	組 織	57
2)	京都文化財団	57
3)	京都文化博物館	58
VII - 2	施 設	59
1)	本館関係	59
2)	別館関係	59
VII - 3	館内店舗	62
1)	ろうじ店舗	62
2)	別館店舗	62
3)	博和会・ろうじ行事	62
VIII.	2011（平成23）年度のあゆみ	63

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2011(平成23)年度の 主な活動

京都府京都文化博物館にとって、2011(平成23)年度は「第2の開館」として記憶されるべき特別な年となった。2010(平成22)年12月から始まった長期休館のうちに2011(平成23)年度が明けたが、この間に博物館のリニューアルに取り組んできた関係各位の熱意と努力が7月9日のリニューアルオープンとして実を結んだ。リニューアルは、開館から23年を経過し、施設面や運営面の様々な課題に対応して、博物館としての新たな飛躍をめざすために、京都府が14億円を超える多額の予算を計上して行ったものである。7月9日には、山田啓二京都府知事をはじめ、関係各位約500人の出席のもと、改築して明るく、広くなった本館エントランスを利用して、リニューアルオープンの開会式が盛大に執り行われた。

このリニューアル事業が、まさに京都府や京都府内の市町村の関係者が総力を挙げて取り組んできた第26回国民文化祭・京都2011にあわせて実現できたことは、京都府の文化芸術振興のシンボリックな事業として大きな意義を持つものであり、当博物館としても、日頃からご愛顧いただいている京都府民の皆様をはじめ、関係各位のご尽力に対する感謝を忘れることなく、期待の大きさと責任をしっかりと自覚して、運営に取り組んでいく決意を新たにしたところである。

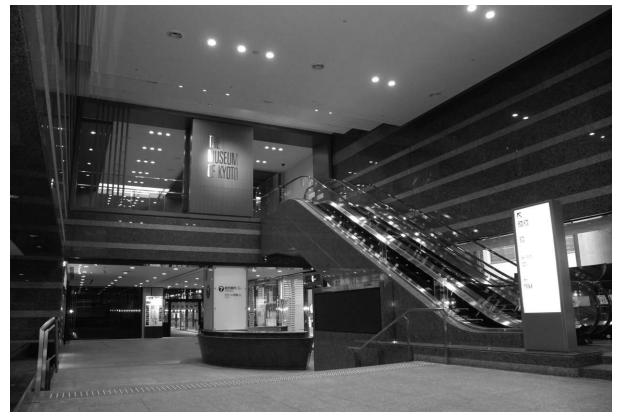
今回のリニューアルの最も大きな狙いは、開館以来、展示内容をほとんど変更せずに行ってきた模型やジオラマを中心とする常設展示の刷新である。模型を中心とした『常設展示』から「ほんまもん」を体感できる『総合展示』とすることをコンセプトに、「常設展示室」を「総合展示室」に改め、さらに2階総合展示室を「京の歴史」「京のまつり」「京の至宝と文化」の3ゾーンに区分し、それぞれのゾーンで京都に関係の深い「ほんまもん」を中心に、大画面の映像も活用し、内容を順次入れ替えながら展示を行っていくこととした。また、3階の映像ホールは「フィルムシアター」として、座席を113席から174席に増やすとともに、要望の多かった映画館用のシートの導入、床面の段床化などの鑑賞環境の大幅な改善や、スクリーンの拡大と最新の映写機・音響設備により画質・音質の向上を図り、当館が大きな独自性を持つ映像分野の強化を図った。

こうした展示室の大幅な刷新のほか、本館エントランスの改築、エスカレーターの新設・移設、3階「やすらぎコーナー」の設置、展示案内のデジタル化をはじめとする館内標識の充実などにより、来館者の皆様が快適に博物館を楽しんでいただくための整備を行うとともに、当博物館の「顔」ともいえる重要文化財の別館(旧日本銀行京都支店)からの入館がより円滑になるよう、本館エントランス、ろうじ店舗への導線の円滑化を図った。また、設備面でのリニューアルに留まらず、新しいボランティア制度としてボランティアガイドを創設し、主に2階総合展示室での展示ガイドや博物館主催イベントの補助、広報宣伝活動の補助などで185人(平成24年3月末現在)が活躍いただいている。このほか、友の会制度の改正を行い、若年層が入会しやすいものとするなどのソフト面でのリニューアルも行った。

なお、2010年12月から2011年5月にかけて、本館部分の工事に伴い、事務室を別館ホールに移転して業務を行ったことも、当博物館の歴史の中で極めて異例のことであった。



リニューアルオープン式典の様子



リニューアル後の本館エントランス

また、昭和63年の開館以来、博物館類似施設として様々な活動を行ってきたが、美術品の国家補償制度の創設を機に、より一層博物館活動を充実させるため、登録博物館申請を行い、平成23年12月16日付けで登録博物館として登録された。

今年度の自主企画展としては10月29日から12月11日まで「京の小袖—デザインにみる日本のエレガンス」を開催した。これは、国民文化祭の事業の一環として、京都和装産業振興財団をはじめ、株式会社千總、丸紅株式会社、松坂屋百貨店(現・株式会社大丸松坂屋百貨店)や個人・社寺の所蔵家の協力によって実現した。展覧会オープンの前日には、国民文化祭開会式に出席予定で入洛されていた皇太子殿下も展覧会をご高覧になられ、話題を集めた。



皇太子殿下ご高覧

同展の入館者数は42,919人であった。2011年度特別展の総入場者数は225,331人、総合展の入場者数は56,776人であり、貸ギャラリー、ろうじ店舗の入場者も含めた総入館者数は621,559人であった。

映画部門では、運営に関して、週4日であった上映日を週6日とし、休館日以外は映画を上映する体制とした。また、当館の特徴である映画文化を強くアピールするため会場の名称を「映像ホール」から「フィルムシアター」に変更した。上映企画であるが、基本的に京都府所蔵フィルムの企画上映を中心にしながら、京都ヒストリカ国際映画祭や京都国際子ども映画祭の共催上映や、文化庁の支援により1990年代から2000年代の近作、アニメーション作品の企画上映も行い、若年層など新たなファンを開拓する取り組みを進めた。また、国民文化祭の京都開催にあたり京都の映画文化を伝える関係事業や文化庁メディア芸術祭京都展も開催した。普及事業に関しても、スマートフォンを使った映像製作体験ワークショップ、国内外の映画人を集めて短編時代劇を製作する京都映画若手才能育成ラボ、映画フィルムの復元ワークショップなどを開催し、多様な対象に向け映像文化の普及に取り組んだ。

* 2011(平成23)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2011.4	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—	—	0	0
5	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—	—	0	0
6	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—	—	0	0
7	3,529	1,891	5,420	9,158	7,848	17,006	12,687	9,739	22,426	1,754	4,236	5,120	11,110	33,536
8	0	12,994	12,994	8,121	8,590	16,711	8,121	21,584	29,705	6,506	3,153	6,627	16,286	45,991
9	3,072	5,098	8,170	14,369	10,686	25,055	17,441	15,784	33,225	6,717	5,290	38,715	50,722	83,947
10	2,651	5,195	7,846	11,143	12,940	24,083	13,794	18,135	31,929	3,410	7,403	6,630	17,443	49,372
11	1,470	3,328	4,798	11,901	11,670	23,571	13,371	14,998	28,369	4,864	5,454	15,846	26,164	54,533
12	1,481	1,981	3,462	7,730	8,411	16,141	9,211	10,392	19,603	1,490	5,226	3,100	9,816	29,419
2012.1	1,790	2,321	4,111	0	6,162	6,162	1,790	8,483	10,273	941	5,514	2,591	9,046	19,319
2	1,521	2,690	4,211	31,279	14,181	45,460	32,800	16,871	49,671	1,878	2,966	3,445	8,289	57,960
3	2,553	3,211	5,764	32,723	18,419	51,142	35,276	21,630	56,906	4,384	8,523	23,859	36,766	93,672
年度計	18,067	38,709	56,776	126,424	98,907	225,331	144,491	137,616	282,107	31,944	47,765	105,933	185,642	467,749
1日平均	80	172	252	718	562	1,280	—	—	—	410	255	785	—	—

※総合展示は、8月2日～31日まで入場無料(クールスポット)とした。

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、総合資料館から委託を受けた資料に関して2011年度末での管理資料は51,774点、寄託資料が636点、一時保管資料が715点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分 野	作 者	資 料 名	点 数	
漆 芸	平岩晃祥	「赫苑」ほか	2	
日本画	三宅凰白	「瀧不動」	1	
日本画	芦田裕昭	「幽静」ほか	3	
書 跡	藤原定家	「自撰名所歌巻物」ほか	25	
日本画	中路融人	「耀」	1	
日本画	冷泉為恭	「美人図」ほか	2	
洋 画	都鳥英喜	「洛北の秋」ほか	2	
				小計 36点

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館資料	日本画	5件 5点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	17件 19点	複製模本	1件 1点	85件 795点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	5件 15点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 307点	12件 636点

II-2 資料の利用

1) 貸 与

【館資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市立博物館	常設展示
模型	月鉾模型	1	八代市立博物館未来の森ミュージアム	特別展「大妙見祭展～華開く祭礼風流～」
模型	京都南座復元模型(元禄期)	1	長浜市曳山博物館	特別展「歌舞伎からみるお江の時代」
歴史	洛外図屏風	1	〃	〃
考古	三条西殿跡出土磁器	5	東京都江戸東京博物館、神戸市立博物館、広島県立博物館、NHK視聴者事業局、NHKプロモーション	NHK大河ドラマ50年 特別展「平清盛」
考古	土御門内裏跡出土品(磁器・輪宝)	2	〃	〃
考古	高倉宮跡出土磁器	2	〃	〃
考古	平安京左京八条三坊二町跡出土品(磁器・鋳型)	10	〃	〃
考古	法住寺殿跡出土鍬形復元品	1	〃	〃
歴史	女房装束	1	広島県立博物館、NHK視聴者事業局、NHKプロモーション	〃
				合計 11件 28点

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	「産女図」ほか	4	城陽市教育委員会	特別展「あの世・妖怪一闇にひそむものたち」
考古資料	「銅鐸(右京区梅ヶ畑出土)」	4	大阪府立弥生文化博物館	特別展「豊饒をもたらす響き 銅鐸」
染織	「板締染道具」	1	国立歴史民俗博物館	企画展示「紅板締め—江戸から明治のランジェリー—」
陶磁器・染織	「錆絵染付舟形向付」ほか	16	石川県立美術館	「地域文化が育んだ美術館・博物館の名品展」
漆芸	七代西村彦兵衛「春秋時絵文庫」	1	三井記念美術館	特別展「華麗なる(京時絵) —三井家と象彦漆器—
染織	北村武資「忍冬華文羅着物」ほか	2	京都国立近代美術館	「『織』を極める 人間国宝 北村武資展」
日本画	「八岐大蛇退治図」ほか	2	熱田神宮宝物館	企画展「日本の神話～近・現代絵画を中心に～」
日本画	上村松篁「壬生狂言」	1	財団法人 松柏美術館	特別展「没後10年 上村松篁展～鶴に挑む」
日本画	「百鬼夜行絵巻」ほか	2	茨城県立歴史館	特別展「妖怪見聞」
日本画	水田慶泉「丹波高原」ほか	21	福知山市	平成23年度国民文化祭開催による福知山市佐藤太清記念美術館特別展「丹波・丹後の百景」
金工	斎田梅亭「截金交菱文飾籠」ほか	6	明石市立文化博物館	「第23回京都美術文化賞受賞記念展」
日本画	秋野不矩「ヴィッシュヌプール寺院」	1	「インド・コレクターズ」展実行委員会(福岡アジア美術館)	「魅せられて、インド。—日本のアーティスト/コレクターの眼」展
日本画	上村松篁「壬生狂言」	1	田辺市立美術館	「生誕110年記念 上村松篁展」
洋画	小牧源太郎「城崎風景」ほか	27	公益財団法人 中信美術奨励基金	「造形思考 小牧 源太郎展」
染織	北村武資「忍冬華文羅着物」ほか	2	東京国立近代美術館	特別展「『織』を極める 人間国宝・北村武資」
日本画	大西酔月「高士騎牛図」	1	千葉市美術館、三重県立美術館	「蕭白とその時代」(仮称)
				合計 16件 92点

2) その他

	撮影	特別観覧	寄託資料一時持ち出し・貸与					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館資料	3件	4件 4点	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究	1件 21点
			絵画	上村松園 夕暮	1	平塚市美術館	展示	1件 1点
			絵画	木村武山 弥陀来迎	1	茨城県近代美術館天心記念五浦分館	展示	1件 1点
管理資料	33件 50点	14件 203点	民俗	緋緘小札大鑑ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼	1件 4点
			民俗	大船鉾用具 神功皇后御天冠ほか	101	四条町大船鉾保存会	展示	1件 101点
			民俗	大船鉾用具のうち鉦	1	四条町大船鉾保存会	調査	1件 1点

Ⅲ 展示活動

Ⅲ- 1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

リニューアルオープンにともない、新たに〈京の歴史〉ゾーンを設置した。旧来の歴史展示は模型やレプリカを用いた固定的な展示であったが、新設展示は「ほんまもん」というキーワードのもと、実物資料を中心に構成した。それらの資料は適宜展示替えを行いながら、日・英・中・韓4カ国語による音声ガイドとあわせ、京都の歴史を通観する展示とした。また平安時代から江戸時代における京都の人々の生活や当時の街並を絵画資

料で辿る「絵巻回廊」や、平安京建設から明治期の市電敷設までをCGアニメーションで辿るコンテンツを設置するなど、映像展示をふんだんに盛り込み、ビジュアルに特化した歴史展示を実現した。京都が持つ長大な歴史の積層に比して、新設展示室はやや狭小の感はあるが、隣接する〈京のまつり〉〈京の至宝と文化〉の各ゾーンで行う展示活動に歴史的な核を与える機能として育てていきたい。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料一覧】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵/寄託
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈* *〉
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立総合資料館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立総合資料館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立総合資料館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立総合資料館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈* *〉	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立総合資料館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立総合資料館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立総合資料館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立総合資料館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	〈* *〉	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	土層はぎとり	1点
	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	〈* *〉
28		鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	〈* *〉	
29		緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	〈* *〉	
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	〈* *〉
31		重要文化財 源氏物語 大島本	53冊の内、1冊	古代学協会	
32		楽琵琶	1点	〈* *〉	
	中世都市市民の生活	33	笙	1点	〈* *〉
34		常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	〈* *〉	
35		備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	〈* *〉	
36		中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	〈* *〉	
37		埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	〈* *〉	
38		鑄造関連遺物(刀装具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈* *〉	
39		中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈* *〉	
	近世町人のなりわい	40	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	〈* *〉
41		京童	1点	〈* *〉	
42		都名所図会	1点	〈* *〉	
43		つぼつぼ	1点	〈* *〉	
44		でんぼ	1点	〈* *〉	
45		伏見人形 布袋	1点	〈* *〉	
46		伏見人形 饅頭喰い	1点	〈* *〉	
47		鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	〈* *〉	
48		南天柄鏡	1点	〈* *〉	

※所蔵欄 〈* *〉印の資料は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、〈* * *〉印の資料は当館蔵

2) <京のまつり>ゾーン

III-1 総合展示 ▶ 2) <京のまつり>ゾーン

① 祇園祭—山鉾の名宝—

会 期：2011年7月9日(土)～10月2日(日)

前期展示：7月9日(土)～8月21日(日)

後期展示：8月24日(水)～10月2日(日)

概 要：古代から現代まで連綿と続いてきた祇園祭は、日本を代表する祭礼として名高く、とくに山鉾巡行は、その豪華絢爛な懸装品などから人びとの注目を集めてきた。この展示では、祇園祭の山鉾を飾った16世紀から17世紀頃の懸装品を中心に、今に伝わる名宝を紹介した。

出品資料数：14点

担当者：西山 剛、植山 茂

【記念講演会】「祇園御霊会と山鉾風流」

日時：8月20日(土)午後1時30分～

場所：本館3階フィルムシアター

講師：吉田孝次郎

(財団法人祇園祭山鉾連合会理事長)

参加者数：135名

【「祇園祭—山鉾の名宝—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	所蔵者	時代	文化財指定
1	綾地締切蝶牡丹文片身替小袖(芦刈山御神体衣裳)	芦刈山保存会	16世紀後半	重要文化財
2	役行者山面袋 蓮華唐草文様金襴(中国)	役行者山保存会	16世紀中頃	重要有形民俗文化財
3	祇園祭礼図	役行者山保存会	江戸時代	
4	月鉾 櫓	月鉾保存会	元亀4年(1573)	重要有形民俗文化財
5	黒韋威肩白胴丸 大袖付(弁慶殿鎧)	橋弁慶山保存会	16世紀	重要文化財
6	保昌山見送 仙人の図 中国刺繍掛物	保昌山保存会	16世紀前半	重要有形民俗文化財
7	保昌山御神体鎧金具	保昌山保存会	室町時代	
8	長刀鉾胴掛 玉取り獅子の図・アラビア文字額絨毯(中国近辺)	長刀鉾保存会	16世紀初頭	重要有形民俗文化財
9	長刀鉾胴掛 梅樹の図・牡丹唐草アラビア文字額絨毯(中国近辺)	長刀鉾保存会	17世紀初頭	重要有形民俗文化財
10	函谷鉾胴掛 虎と梅樹の図・牡丹唐草額絨毯(中国近辺)	函谷鉾保存会	16世紀中頃	重要有形民俗文化財
11	函谷鉾胴掛 二虎の図・牡丹唐草額絨毯(中国近辺)	函谷鉾保存会	16世紀中頃	重要有形民俗文化財
12	放下鉾胴掛 鳳凰と虎に鶴と鶴と牡丹の図 朝鮮毛綴(3点継の右) 鳳凰と虎に鶴と牡丹の図 朝鮮毛綴(3点継の中) 鳳凰と虎に鶴と鶴と梅の図 朝鮮毛綴(3点継の左)	放下鉾保存会	16世紀後半	重要有形民俗文化財
13	放下鉾胴掛 玉取り獅子にすすきの図 朝鮮毛綴(3点継の右) 玉取り獅子に波と網の図 朝鮮毛綴(3点継の中) 玉取り獅子の図 朝鮮毛綴(3点継の左)	放下鉾保存会	16世紀後半	重要有形民俗文化財
14	放下鉾後掛 玉取り親子獅子と山神の図 朝鮮毛綴(3点継の右) 玉取り親子獅子と虎と松に鶴の図 朝鮮毛綴(3点継の中) 番い鳳凰に鶴と鶴と牡丹の図 朝鮮毛綴(3点継の左)	放下鉾保存会	16世紀後半	重要有形民俗文化財

② 祇園祭—北観音山の名宝—

会 期：2011年10月12日(水)～2012年1月9日(月)
 前期展示：10月12日(水)～11月20日(日)
 後期展示：11月23日(水)～1月9日(月)
 概 要：北観音山は、南北朝時代の文和2年(1353)に
 創建され、天保4年(1833)には屋根を設置し、
 巡行を行うようになった。また北観音山を出
 す六角町には、古くから三井家や松坂屋等の

豪商も居住したため、豪華な飾金具や懸装品
 が残されていることでも有名。本展ではこれ
 らの北観音山伝来の品々を展示し、華やかな
 山の姿と奥深い歴史を紹介した。

出品資料数：19点
 担当者：西山 剛、村野正景

【「祇園祭—北観音山の名宝—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	作者等	時代	文化財指定
1	後掛 八つ星メダリオン草花文様 インド絨毯		17世紀末	重要有形民俗文化財
2	北観音山指図			
3	北観音山指図			
4	金幣		明治44年(1911)	重要有形民俗文化財
5	懸魚	片岡友輔	天保4年(1833)	重要有形民俗文化財
6	虹梁 黒漆塗雲龍文様鍍金金具付		天保4年(1833)	重要有形民俗文化財
7	角飾金具 祇園守文様鍍金金具		嘉永4年(1851)	重要有形民俗文化財
8	妻飾 金雲に飛鶴図	片岡友輔	天保4年(1833)	重要有形民俗文化財
9	天水引 金地唐草文様 錦		文化14年(1817)	重要有形民俗文化財
10	天水引 緋羅紗地 雲龍図 刺繍	下絵・伝鶴沢探索	明和6年(1769)	重要有形民俗文化財
11	胴掛 中東蓮華葉文様 インド絨毯		18世紀前半	重要有形民俗文化財
12	胴掛 斜め格子草花文様 インド絨毯		18世紀前半	重要有形民俗文化財
13	胴幕 五色羅紗		享保20年(1735)	重要有形民俗文化財
14	二番三番水引 瑞鳳従群鳥図	山鹿清華	昭和36年(1961)	重要有形民俗文化財
15	前掛 中東蓮華葉文様 インド絨毯		17世紀末	重要有形民俗文化財
16	見送 唐婦女子嬉遊図 刺繍		寛政3年(1791)	重要有形民俗文化財
17	見送 嬉遊百子園図・日輪鳳凰額 中国綴織		17世紀中頃	重要有形民俗文化財
18	欄縁 獅子牡丹文様鍍金金具付	下絵・中村玉舟	昭和7年(1932)	重要有形民俗文化財
19	欄縁 黒漆塗木瓜巴紋鍍金金具付		天保4年(1833)	重要有形民俗文化財

③ 祇園祭—船鉾の名宝—

会 期：2012年1月13日(金)～3月25日(日)
 前期展示：1月13日(金)～2月19日(日)
 後期展示：2月22日(水)～3月25日(日)

出品資料数：22点
 担当者：橋本 章、西山 剛

概 要：祇園祭に登場する山鉾の中でも、独特の形状
 をもつ船鉾は、豪壮な龍の刺繍が施された水
 引や、雲龍文の前懸、金地に多彩な草花が装
 飾された格子天井など、祇園祭の山鉾に相応
 しい懸装品が飾られる。船鉾をめぐる美術工
 芸の美しさと、そこに込められた民俗の奥深
 さから、祇園祭を彩る華麗な山鉾の歴史や文
 化に触れ、その魅力の一端を紹介した。

【記念講演会】「船鉾の懸装品について
 —祇園祭・船鉾の名宝展から—」

日時：3月11日(日)午前10時30分～12時
 場所：本館3階フィルムシアター
 講師：藤井健三(染織研究家)
 土田 勝(立命館大学客員教授)

参加者数：49名

【「祇園祭—船鉦の名宝—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	作者等	時代	文化財指定
1	神功皇后神面(本面)		文安年間(1444-49)	重要有形民俗文化財
2	下水引 雲龍文様 肉入刺繍	西村楠亭 下絵	天保7年(1836)	重要有形民俗文化財
3	天水引 緋羅紗地雲鳳凰文様刺繍		天保5年(1834)	重要有形民俗文化財
4	水引鱧櫓下 緋羅紗地鳳凰麒麟文様刺繍		天保5年(1834)	重要有形民俗文化財
5	前懸 波濤に飛龍文様織錦(官服直し)		17世紀	重要有形民俗文化財
6	前懸 波濤に飛龍文様綴織		17世紀	重要有形民俗文化財
7	前懸 雲龍波濤文様綴織 松唐草文様金具付	山鹿清華 作	昭和8年(1933)	重要有形民俗文化財
8	見送 波濤に飛龍文様織錦(官服直し)		安永5年(1776)	重要有形民俗文化財
9	船鉦舵	鶴沢探泉 下絵	寛政4年(1792)	重要有形民俗文化財
10	屋形格天井 金地四季花の丸図		天保5年(1834)	重要有形民俗文化財
11	飛龍 鱧櫓飾	長谷川若狭 作	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
12	御神号掛軸(建速須佐乃男命)	伝富岡鉄斎 書	江戸~明治時代	
13	船鉦飾道具入日記		正保2年(1645)	
14	祇園会寄町覚		元禄8年(1695)	
15	中啓 金地撫子裏蛤	土佐光時 画	寛政8年(1796)	重要有形民俗文化財
16	神功皇后御神体(付 写し面)		写し面は江戸時代	重要有形民俗文化財
17	下水引 水色牡丹唐草地飛鶴図刺繍 二番水引 白羅紗地波濤文様	下水引 村上松堂 下絵	天保4年(1833)	重要有形民俗文化財
18	天水引 赤地蜀江鳳凰文様金襴		江戸時代後期	重要有形民俗文化財
19	見送幕「雲龍図」綴織 古鍍金金具		平成8年(1996)	
20	鱧隠 黒漆塗金箔押 唐草巴紋彫金		天保5年(1834)	重要有形民俗文化財
21	船鉦由来記		江戸時代	
22	祇園会式例書		安永7年(1778)	

3) <京の至宝と文化>ゾーン

III-1 総合展示 ▶ 3) <京の至宝と文化>ゾーン

① 細川家 永青文庫コレクション1 細川家と京都

会 期：2011年7月9日(土)～9月4日(日)

前期展示：7月9日(土)～8月7日(日)

後期展示：8月10日(水)～9月4日(日)

概 要：細川幽斎・三斎親子は、戦国の世から太平の世へと移り変わる安土桃山時代に武家の枠を超えた文化人としても活躍した。両者とも織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三天下人に仕え、幽斎は古今和歌集や源氏物語をはじめ有職故実にも広く通じた文化人であり、三斎は特に茶の湯に通じており、千利休門下の七哲の一人にも数えられていた。本展では、幽斎・三斎の時代に焦点をあて、武家の名家・細川

家と京都ゆかりの作品を展示した。

協 力：公益財団法人永青文庫、熊本県立美術館、
熊本大学附属図書館

出品資料数：53件

担当者：横山和弘

【記念講演会】「細川家700年 文と武と美」

日時：7月9日(土)午後1時30分～

場所：本館3階フィルムシアター

講師：細川護熙(公益財団法人永青文庫理事長)

参加者数：170名

【「細川家と京都」展 出品資料一覧】

No.	指定	資料名	時代	No.	指定	資料名	時代
第1部 細川家と京都				27		瀬戸茶入 銘メ切	室町～桃山時代
1		足利義詮感状 細川頼有宛	南北朝時代 観応3年5月6日	* 1	28	古唐津茶入 銘しのおめ	桃山時代
2		室町幕府御教書 細川常有宛	室町時代 宝徳2年4月29日	* 1	29	禾目天目茶碗	中国・南宋時代 12-13世紀
3		細川幽斎肖像 矢野良恭筆	江戸時代		30	木葉天目茶碗	中国・南宋～元時代 13-14世紀
4		織田信長黒印状 細川藤孝(幽斎)宛	桃山時代 元亀4年2月23日	* 1	31	刷毛目茶碗 銘残雪	朝鮮・朝鮮王朝時代 15-16世紀
5		豊臣秀吉判物 細川忠興(三斎)宛	桃山時代 天正10年7月11日	* 1	32	井戸茶碗 銘五月雨	朝鮮・朝鮮王朝時代
6		豊臣秀吉判物 細川忠興(三斎)・幽斎宛	桃山時代 天正17年9月27日	* 1	33	茶杓 宗易 千利休作	桃山時代
7		徳川家康書状 細川忠興(三斎)宛	桃山時代 慶長5年8月12日	* 1	34	茶杓 ころつる写 細川三斎作	桃山～江戸時代初期
8		細川ガラシャ消息	桃山時代		35	染付桃香合	中国・清時代 18-19世紀
9	□	源氏物語 細川幽斎筆	桃山時代	* 1	36	織部弾付香合	桃山時代
10	□	古今和歌六帖 細川幽斎他筆 第一帖・第六帖	桃山時代 文禄4年	* 1	37	存星袖香合	江戸時代
11		和歌扇面 細川幽斎筆	桃山時代		38	染付擬宝珠香合	中国・明時代 嘉靖期(1522-66)
12		古今和歌集	江戸時代		39	唐銅細頸花入	中国・六朝時代 4-6世紀
13		秋草鶴丸紋時絵軸物箱	江戸時代		40	信楽鬼桶水指	桃山時代
14		北野天神縁起絵巻 巻第一・巻第四	室町時代		41	唐物茶壺 銘亀壺	中国・南宋～元時代 13-14世紀
15		祇園祭礼絵巻 上巻・下巻	江戸時代前期		42	唐物茶壺 銘千とせ	中国・明時代 17世紀
16		千鳥蒔絵硯箱	室町時代		43	千利休書状 両巻合点物見申候	桃山時代
17		千鳥蒔絵料紙箱	江戸時代前期		44	烏丸光広試筆和歌 細川幽斎書入	桃山～江戸時代初期
18		雷文散時絵鞍	江戸時代中期		45	細川三斎書状 寿命さま宛	桃山時代
19		梅樹文時絵鞍	江戸時代前期		46	細川三斎墨蹟 ふろたな	江戸時代
20		源氏物語図扇面貼交屏風	室町時代	* 2	47	無学祖元法語 世尊初生	鎌倉時代
21		一の谷・屋島合戦図屏風	江戸時代初期	* 2	48	宗峰妙超墨蹟	鎌倉時代 正中2年(1325)
22	◎	天球儀(渾天新図) 渋川春海・津田友正作	江戸時代 寛文13年		49	瀟湘八景図 雪村周継筆	室町時代
23		五輪書 水の巻	江戸時代		50	柳金鶏図 黄翰筆	中国・明時代 15世紀
24		黒革包紺糸威具足 細川護久所用	江戸時代		51	青緑山水図巻 仇英筆	中国・明時代 16世紀
第2部 細川家と茶湯				52		扇面貼交屏風 元久印	室町時代 * 2
25		唐物茶入 銘下草	中国・南宋～元時代 13-14世紀		53	四季耕作図屏風	江戸時代初期 * 2
26		瀬戸茶入 銘山桜	室町～桃山時代				

※指定欄の◎印は重要文化財を示し、□印は熊本県指定重要文化財を示す。
※いずれも、公益財団法人永青文庫所蔵(* 1: 熊本大学附属図書館寄託 / * 2: 熊本県立美術館寄託)。

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

② 出土資料からみる平安京の世界

会 期：2011年9月8日(木)～11月13日(日)
概 要：京都は、平安京の創建から現代まで、1200年以上にわたって都市であり続けた。京都の地下には、その永年の間に、ここに生活したさまざまな階層の人々が使用し廃棄された膨大な量の「文化財」が埋まっている。本展では、

京都文化博物館が行った平安京跡の発掘調査資料、および当館が引き継いでいる財団法人古代学協会調査資料の中から、平安時代の興味深い品を選んで紹介した。

出品資料数：18件178点
担当者：植山 茂、村野正景

【「出土資料からみる平安京の世界」展 出品資料一覧】

No.	資料名	No.	資料名	No.	資料名
1	緑釉軒瓦(朝堂院・豊楽院跡)	7	緑釉三足壺、灰釉三足壺(西寺跡)	13	灰釉平瓶、土器類(主水司・齋院跡)
2	緑釉鴟尾(朝堂院・豊楽院跡)	8	施釉陶器、白色土器(内裏跡)	14	施釉陶器、須恵器(左京八条三坊二町)
3	平安京に運ばれた平安京以前の都の瓦	9	青磁瓶・碗(内裏跡)	15	白磁水注・碗(左京八条三坊二町)
4	平安京に運ばれた諸国産の瓦	10	白磁碗(左京三条四坊四町)	16	祭祀用の土製品(左京八条三坊二町)
5	各種の磚(西賀茂瓦窯跡)	11	小型瓦、白磁碗、土師器皿(雲林院跡)	17	木製柵(右京五条二坊九町)
6	凝灰岩製地覆石(民部省跡)	12	緑釉陶器、灰釉陶器(土御門内裏跡)	18	銅製輪宝(土御門内裏跡)

③ 近衛家王朝のみやび 陽明文庫の名宝 1

会 期：2011年9月10日(土)～11月6日(日)

前期展示：9月10日(土)～10月10日(月)

後期展示：10月13日(木)～11月6日(日)

概 要：京都市右京区の陽明文庫には、平安時代以来の貴重な歴史資料が数多く収蔵されている。それは、摂政・関白という朝廷の要職に就いた藤原摂関家の一つ、近衛家の御蔵を継承したもので、そこには平安貴族社会の栄華を極めた藤原道長の自筆の日記『御堂関白記』(国宝)をはじめ、幕末にいたるまでの歴代関白の日記が収蔵されている。他にも、天皇の宸翰

や摂関家ゆかりの古文書、政務儀式や有職故実、国文学や漢籍、古筆名蹟など、王朝文化のあらゆる分野にわたる資料が幅広く収蔵されており、公家資料の一大宝庫となっている。本展では、これらの資料の中から、歴代の関白記、天皇の宸翰、絵巻物などを中心に、近衛家に伝わった古文書・古典籍・絵巻物等を精選して展示した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品資料数：19件

担当者：横山和弘

【「陽明文庫の名宝1」展 出品資料一覧】

No.	指定	資料名	筆写・作者	時代
1	国宝	御堂関白記 寛弘八年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘8年(1011)
2	国宝	御堂関白記 寛仁三年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛仁3年(1019)
3	国宝	御堂関白記 寛弘八年巻	大殿(藤原師実)筆	平安時代後期
4	国宝	御堂関白記 寛仁三年巻	筆写未詳	平安時代後期
5	重要文化財	後法興院記 延徳元年(長享三年)記	近衛政家筆	室町時代 延徳元年(1489)
6	重要文化財	後法興院記 明応九年記	近衛政家筆	室町時代 明応9年(1500)
7	重要文化財	後法成寺関白記 永正三年記	近衛尚通筆	室町時代 永正3年(1506)
8	重要文化財	後法成寺関白記 享禄二年記	近衛尚通筆	室町時代 享禄2年(1529)
9		宸翰三社託宣	後水尾天皇宸筆	江戸時代
10		宸翰仮名消息	後醍醐天皇宸筆	南北朝時代
11		宸翰仮名消息	後小松天皇宸筆	室町時代
12		仮名消息	藤原為家筆	鎌倉時代
13		仮名消息	近衛基熙筆	江戸時代
14		三帝九臣和歌短冊	後柏原天皇・三条西実隆・上冷泉為広・下冷泉政為 後水尾天皇・三条西実条・中院通村・烏丸資慶 霊元天皇・中院通茂・武者小路実陰・清水谷実業	室町時代～江戸時代
15		懐紙手鑑(若菜集)	近衛忠熙筆	江戸時代 19世紀
16		春日権現霊験記絵巻 巻第十	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興筆	江戸時代 享保20年(1735)
17		春日権現霊験記絵巻 巻第十九	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興筆	江戸時代 享保20年(1735)
18		花木真写 夏の巻	近衛家熙筆	江戸時代 18世紀
19		花木真写 秋の巻	近衛家熙筆	江戸時代 18世紀

④ 金剛家の名宝

会 期：2011年11月10日(木)～12月4日(日)
 概 要：600年という長い歴史をもつ金剛流は、能楽シテ方五流派の一つで、奈良の法隆寺に奉仕した猿楽座の坂戸座を源流とする。近代以降は、他の四流の宗家が東京を本拠地に移す中、金剛流は京都に宗家のある唯一の流儀でもあり、所蔵する装束や面に名品が多いことで知

られ「面金剛」とも称されている。本展では、京都にゆかりの深い金剛家に代々伝えられた能面や、舞台を彩る数々の華麗な能装束、扇などを紹介するもの。

出品資料数：20点

担当者：洲鎌佐智子、植山 茂

【「金剛家の名宝」展 出品資料一覧】

No.	資料名	No.	資料名
1	翁(日光作)〈室町時代〉	11	熨斗献上花文鬘帯
2	小面 銘雪(石川龍右衛門重政作)〈室町時代〉	12	垣撫子文鬘帯
3	中将(出目満照作)〈室町時代〉	13	糸巻文鬘帯
4	橋姫(近江作)〈江戸時代〉	14	秋草文腰帯
5	三段花熨斗文唐織	15	山吹文腰帯
6	南天萩丸文繡箔	16	四季草花文腰帯(尾形光琳下絵)
7	紫地花車文長絹	17	妻紅秋草に虫鬘扇
8	胴箔地鳳凰文長絹	18	花の丸鬘扇
9	業平菱菊藤丸文厚板	19	亀甲鶴神扇
10	紺地柴田燕文銀襦袢被	20	羽衣の冠

⑤ 御服から見る戦国の京—お江の時代—

会 期：2011年11月17日(木)～12月18日(日)
 概 要：応仁文明の乱(1467-1477)からの1世紀あまり、日本は内乱の時代であった。「冬の時代」とも称されるこの時期は朝廷や室町幕府の権力の衰退、それに伴う群雄の割拠と覇権争いが展開される時期としてイメージされがちだが、視点を京都都市の生産活動や流通活動にうつすと「動乱」「混迷」の時代とは必ずしもいえない。むしろ活発に商業活動や生産活動が展開され、絢爛たる桃山文化の兆しが見え始める時期である。本展は日常生活に密接な

衣服文化をテーマに、衣服の生産・流通を支えていた職商人のあり方を古文書、絵画、染織資料等から復元し、戦国時代における京都の一側面を提示した。展示資料の中でも誓願寺門前図屏風(当館蔵)は、洛中洛外図屏風舟木本の作者、岩佐又兵衛の作として着目されるもので、戦国期の景観を残した近世最初頭の都市・京都を描いており、本展を特徴づける資料となった。

出品資料数：11件

担当者：西山 剛

【「御服から見る戦国の京—お江の時代—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	成立年代	所蔵
1	崇源院像(参考パネル)	江戸時代前期	養源院
2	松皮取に草花辻が花染裂	桃山時代	(*)
3	立涌に草花繡箔裂	桃山時代	(*)
4	霞取に楸繡箔裂	桃山時代	(*)
5	島取に柳文様小袖(復元)	原資料 桃山時代 平成12年復元	丸紅(当館寄託)
6	島取に柳文様小袖裂(参考パネル)	桃山時代	丸紅(当館寄託)
7	誓願寺門前図屏風	江戸時代初期	(**)
8	出土茶陶	室町時代 桃山時代	(**)
9	正親町天皇繪旨案(『壬生文書』1)	室町時代 永禄5年(1562)	京都大学総合博物館
10	装束要領鈔(正徳六年版)	正徳6年(1716)	(*)
11	将軍上洛絵巻	江戸時代前期	京都大学総合博物館

※所蔵欄 (*印)の資料は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、(**印)の資料は当館蔵

⑥ 京都府コレクション 池大雅展

会 期：2011年12月7日(水)～2012年1月29日(日)
 概 要：池大雅(1723-1776)は、江戸時代中期の京都で活躍した文人画の巨匠。京都府では、池大雅美術館から寄附された池大雅の書画資料および関連資料約70件を収蔵しており、本展示では、その中から「柳下童子図屏風」(重要文

化財)、「高士訪隠図屏風」をはじめとした書画の優品を展示した。明澄にして独自の高みに達した池大雅の書画の世界を紹介。

出品資料数：21点
 担当者：市川 彰

【「池大雅展」出品資料一覧】

No.	作品名	材質・技法	No.	作品名	材質・技法
1	唐詩細楷	紙本墨書	12	陶淵明 歸去來辭	紙本墨書
2	梅花月之図	紙本墨画	13	詩二句	紙本墨書
3	墨竹図	紙本墨画	14	王維 七律一句	紙本墨書
4	蕙石図	紙本墨画	15	詩二句	紙本墨書
5	墨菊図	紙本墨画	16	唐詩帖	紙本墨書
6	懸崖採葉図	紙本墨画淡彩	17	一富士二鷹三茄子図	紙本墨画
7	王羲之書扇図	紙本墨画	18	「詠松遐年友和歌」懐紙	紙本墨書
8	高士訪隠図屏風	紙本墨画淡彩	※19	机	木製漆塗
9	柳下童子図屏風〔重要文化財〕	紙本墨画淡彩	※20	違棚	木製
10	観世音之図	絹本墨画	※21	如意輪観世音像・厨子	金銅製
11	巫峡山水	紙本墨画淡彩	※=関連資料		

⑦ 古代学協会所蔵 古文書・古典籍の世界

会 期：2011年12月21日(水)～2012年2月19日(日)
 概 要：本展では、財団法人古代学協会が所蔵し、当館に寄託されている貴重な資料の中から、主に、古文書・古記録・古典籍などの文献史料を展示した。国の重要文化財に指定され、数ある『源氏物語』の写本の中でも、とりわけ評価の高い「大島本源氏物語」をはじめ、平安京内の土地の売買に関する千年前の古文書「七条令解」、あるいは江戸幕府の老中松平定信に献上された裏松固禪編「大内裏図考証」と「院宮及

私第図」など、古代学協会が所蔵する多くの資料の中からその代表的なものを精選した。古代学協会は、京都に本部を置く学術機関であり、故角田文衛氏の指導のもと創立当初から世界史的な見地に立ち、文献学と考古学を大きな柱に国内外で多くの成果を生み、幅広く活動してきた。本展は、2011年に創立60周年を迎える古代学協会の記念事業でもある。

出品資料数：16件

担当者：横山和弘

【「古文書・古典籍の世界」展 出品資料一覧】

No.	指 定	資料名	筆写等	時 代
1	重要文化財	七条令解		平安時代 延長7年(929)
2		七条令解		平安時代 天曆3年(949)
3		藤原氏女家地売券		鎌倉時代 建久3年(1192)
4		平安城左右京職九条坊保図	伊藤東涯筆	江戸時代 宝永元年(1704)
5		大内裏図考証	裏松固禪編著	江戸時代 18世紀後半
6		大内裏図考証 附絵図	裏松固禪編著	江戸時代 18世紀後半
7		院宮及私第図	裏松固禪編著	江戸時代 18世紀後半
8		源氏物語(大島本)	飛鳥井雅康奥書	室町時代 文明13年(1481)
9		紫式部日記絵巻断簡		南北朝時代 14世紀
10		紫式部集		江戸時代
11		伊勢物語	伝飛鳥井雅親筆	室町時代 15世紀
12		水鏡	伝寂蓮筆	室町時代
13		後白河法皇院宣		鎌倉時代 建久3年(1192)
14		北白河院陳子消息	北白河院陳子筆	鎌倉時代 寛喜3年(1231)
15		明月記断簡 附妓女図	藤原定家筆	鎌倉時代 建保元年(1213)正月16日条
16		魚魯愚抄	三条西実隆筆	室町時代 明応3年(1494)・5年(1496)

⑧ 細川家 永青文庫コレクション2 大名文化の華 能

会 期：2012年2月2日(木)～4月1日(日)
 前期展示：2月2日(木)～2月26日(日)
 後期展示：2月28日(火)～4月1日(日)
 概 要：世阿弥らによって室町時代に大成された能は、江戸時代に幕府の式楽となり、大名たちにとってなくてはならない教養のひとつとなった。能への造詣が深かった細川家の歴代当主達も

近代に至るまでさまざまな能面や能装束を蒐集してきた。本展では細川家の長い歴史のなかで蒐集され、実際に使用されながら今日まで伝えられてきた格調高く幽玄な能にまつわる優品を紹介するもの。

出品資料数：28点

担当者：洲鎌佐智子、植山 茂

【「大名文化の華 能」展 出品資料一覧】

No,	資料名	No,	資料名	No,	資料名
1	三光尉 [出目満永作]	11	唐織 紅萌葱段檜垣藤文様	21	鬘帯 水色地綸子草花文様
2	中將 [児玉近江作]	12	唐織 茶浅葱段地秋草文様	22	鬘帯 茶地雪輪柳文様
3	孫次郎 [北七太夫作]	13	縫箔 紅白薄縹段花桐藤文様	23	鬘帯 萌葱地網目菊文様
4	深井 [出目庸久作]	14	縫箔 胴箔地扇面花尽文様	24	鬘帯 胴箔地沢瀉段金霞水文様
5	大飛出 [天下一友閑作]	15	狩衣 紺地麻葉沢瀉丸文様	25	梨地秋草文能管筒
6	鬘(志加美) [天下一友閑作]	16	法被 白地立波丸龍文様	26	能管 銘 法橋
7	厚板 霰鱗地桐鳳凰丸文様	17	側継 黒地菱桐唐草文様	27	花筏文小鼓胴
8	厚板 紅萌葱白段鱗形丸龍文様	18	腰帯 胴箔地桜文様	28	雷神文大鼓胴
9	長絹 紫地朝顔木賊文様	19	腰帯 黄地山に紅葉文様		
10	長絹 紫地水辺に鳥文様	20	腰帯 浅葱地菊松皮菱文様		

III - 1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑨ 雛人形名品展

会 期：2012年2月22日(水)～4月8日(日)

概 要：京都府は質の高い雛人形のコレクションを所有しており、例年、展示を通して紹介してきた。昨年よりリニューアル期間につき展示を行わなかったため、本展示は2年ぶりの紹介となった。吉川観方コレクションを中心に、雛人形の原

型となった天児、這子にはじまり、各様式の雛人形、大正時代の御殿雛、子供の振袖、雛人形を描いた絵画作品などを紹介した。

出品資料数：25点

担当者：林 智子

【「雛人形名品展」出品資料一覧】

No.	作品名	制作年代		No.	作品名	制作年代	
1	天児	江戸時代後期	◇	14	紙雛(土佐光貞画)	江戸時代後期	◇
2	這子	江戸時代末期		15	雛飾		◇
3	立雛	江戸時代末期	◇	16	次郎左衛門雛の図(幸野樗嶺画)	明治時代	◇
4	立雛	江戸時代末期	◇	17	掛花文様振袖	江戸時代末期～明治時代初期	◇
5	元禄雛	江戸時代中期	◇	18	薬玉檜扇文様振袖	江戸時代末期～明治時代初期	◇
6	享保雛	江戸時代中期	◇	19	衣裳人形 母と娘	明治時代	◇
7	有職雛	江戸時代末期	◇	20	市松人形	昭和時代前期	
8	有職雛	江戸時代末期	◇	21	一文雛	江戸時代末期	◇
9	有職雛	安政年間(1854-60)	◇	22	縫立雛	江戸時代末期	◇
10	古今雛	江戸時代末期	◇	23	瓢箪雛	江戸時代末期	◇
11	古今雛	安政4年(1857)	◇	24	芥子雛	江戸時代末期	◇
12	古今雛	安政6年(1859)	◇	25	芥子雛	慶応3年(1867)	◇
13	御殿雛	大正時代					

※いずれも、京都府立総合資料館蔵(当館管理)。◇は吉川観方コレクション。

4) 3階展示室

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

① 平成23年度 次代へつなく京都の工芸 1 新天地を求めた京焼～清水焼団地 50年の歩み～

会 期：2011年9月1日(木)～9月19日(月・祝)

主 催：京都府、京都文化博物館、
清水焼団地協同組合

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、京都新聞社、KBS京都、エムエフ京都、山科経済同友会、京都工芸美術作家協会、京都陶磁器協同組合連合会、第26回国民文化祭京都府実行委員会

概 要：人々の高い審美眼に支えられ、京都では豊かな工芸品がつくられてきたが、陶磁器の分野においてもわが国の美術シーンを飾る数々の逸品が生み出され、その優れた意匠と高い技術を育む伝統は今日まで受け継がれている。しかし、昭和の高度経済成長は急速な社会情勢の変化をもたらし、清水、五条坂周辺は市街地化、観光地化が進むことで、容易に作業空間を拡張することが難しく、登り窯の煤煙についても懸念されるなど、都市部に形成された産地ならではの問題を抱えるようになった。陶業者たちは新しい事業展開を模索するなか、昭和36年に新天地を求めて有志が集まり清水焼団地造成同志会を結成、翌年には清水焼団地協同組合を設立した。東山山麓の東側に造成された清水焼団地は、住居、工房を併せ持った京都陶業界の主要な工業団地として大きく注目を集めることとなった。本展では清水焼団地が50周年を迎えるのを機に、伝統と創造の狭間で新しいやきものに挑戦し続けてきた作家や窯元、同所で活躍する他分野の作家の作品を展覧し、清水焼団地の歴史や未来へむけての取り組みについても紹介した。

出品数：陶芸等162点

担当者：洲鎌佐智子



「新天地を求めた京焼」展 ちらし

入場者数：17,854人(1日平均1,050人)

【関連行事】

〔1〕シンポジウム／9月3日(土)／於：別館ホール

午後2時～：基調講演「清水焼その歩みと特色」

中ノ堂一信(京都造形芸術大学教授)

午後3時～：パネルディスカッション「未来へ」

谷口正典、小川裕嗣、吹田紘筈、森野彰人、若林寿一

〔2〕出品作家による列品解説

展示室内にて、各日午後2時～2時40分

9月4日(日)、11日(日)、18日(日)

② 創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～

会 期：2011年9月27日(火)～10月16日(日)

主 催：京都府、京都文化博物館、
京都工芸美術作家協会

協 賛：公益財団法人 野村財団

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞社
京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京
都総局、日本経済新聞京都支社、NHK京都放
送局、KBS京都、エフエム京都、第26回国民
文化祭京都府実行委員会

概 要：京都工芸美術作家協会は、京都を中心に活躍
する工芸美術作家の会派を超えた作家団体と
して、染織、陶芸、漆芸、金工、人形、ガラ
ス、木竹、七宝など、多岐にわたる分野の作
家が参加し、昭和21年の設立以来、我が国の
工芸美術界をリードしてきた。本展は、京都
府が事務局を務めるなどして作家育成等に支
援してきた同会が、創立65周年を迎えるあた
り「京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ
～」として開催したものである。現在活躍する
会員約400人のうち約230人が新作を出品、現
時点における京都の工芸技術の高さや奥深さ、
そして意匠のひとつひとつに施された美意識
を感じ取っていただける展覧会となった。

出品数：天野達夫「暖海」ほか約230点(染織88点、陶芸
89点、漆芸24点、金工11点、諸工芸18点)

担当者：洲鎌佐智子

入場者数：23,287人(1日平均1,293人)

【関連行事】

[1] 出品作家による作品解説

10月1日(土)午後2時～

中井貞次、竹中浩、小泉武寛、村山明

10月8日(土)午後2時～

井隼慶人、永楽善五郎、伊藤裕司、面屋庄甫

10月10日(月・祝)午後2時～

創立65周年記念
京都工芸美術
作家協会展
今日から明日へ

平成23年 9月27日(火)～10月16日(日)

全 場：京都文化博物館 3階総合展示室
開 演：午前10時～午後7時30分(最終日午後5時)
休 館 日：月曜日(10月10日)・10月11日(休館)
入 場 料：月曜日(10月10日) 大人4,000円 小中学生無料
10月10日(月・祝) 無料

協賛：公益財団法人 野村財団
後援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞社京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、第26回国民文化祭京都府実行委員会

主催：京都府、京都文化博物館、京都工芸美術作家協会

京都文化博物館
〒604-8182 京都府中京区三條東區
TEL: 075-322-2500 FAX: 075-322-0888
URL: http://www.kyoculturalmuseum.jp

「京都工芸美術作家協会展」ちらし

羽田登、片山雅美、向井弘子

10月15日(土)午後2時～

吉水絹代、宮下善爾、望月重延、生田丹代子

【小品展】

同展覧会の開催にあわせて、以下のとおり小品展を開催した。

日時：9月27日(火)～10月2日(日)[7日間]

午前10時～午後7時30分(最終日は～午後5時)

会場：当館別館ホール

入場料：無料

③ 京都府コレクション 麗しの京美人展

会 期：2012年2月4日(土)～3月25日(日)
 概 要：本展示では、近世から近代、現代にかけて、京都で活躍した絵師、画家たちによって描かれた美しい女性像の数々を紹介した。女性の美しさを描き出す美人画は、最も人気のある画題の一つと言える。描き手の個性や時代による女性美への認識の違いなどがあらわとなった作品は、さまざまな魅力に溢れ、京都に

おいても多様な美意識の変遷があったことを物語る。また、女性たちが身にまとった華やかな小袖や櫛、簪などの衣裳や小物を併せて紹介することで、当時の女性の存在を身近に感じていただいた。

出品数：77件

担当者：植田彩芳子、洲鎌佐智子、市川 彰、林 智子

【「麗しの京美人展」出品資料一覧】

No.	作品名	作者等	制作年	No.	作品名	作者等	制作年
1	衣通姫図	西川祐信	江戸時代前～中期	40	舞妓 〈◇〉	広田多津	昭和61年
2	源氏物語 若菜下	西川祐信	江戸時代前～中期	41	吸付煙管 〈◇〉	下村良之介	昭和61年
3	美人図	冷泉為恭	江戸時代後期	42	祇園春宵 〈◇〉	磯田又一郎	昭和61年
4	伝吉野太夫図	益利	江戸時代前期	43	一力茶屋二階より 〈◇〉	辰巳 寛	昭和61年
5	富貴佳境・貴妃文楽図	源琦	江戸時代中期	44	都をどり 〈◇〉	入江西一郎	昭和61年
6	美人図	長沢芦雪	江戸時代中期	45	神苑舞妓 〈◇〉	大日躬世子	昭和61年
7	太夫雪見図	山口素絢	江戸時代中～後期	46	おみくじ(おけら詣り) 〈◇〉	岡村倫行	昭和61年
8	歌妓図	渡辺南岳	江戸時代中～後期	47	あじさいの頃	三輪良平	平成7年
9	文読み美人図	芦汀	江戸時代後期	48	祇園 紅枝垂れ咲く平安神宮	浅野喜市：撮影	昭和31年4月
10	歌妓図	合川珉和	江戸時代後期	49	祇園 平安神宮 橋殿	浅野喜市：撮影	昭和31年4月
11	白骨と美人	天沢	江戸時代中～後期	50	祇園 土井で	浅野喜市：撮影	昭和30年4月
12	太夫道中図屏風	祇園井特	江戸時代中～後期	51	祇園 都をどり	浅野喜市：撮影	昭和31年4月
13	鼓美人図	祇園井特	江戸時代中～後期	52	雲取前栽草花文様振袖	染分繪子地	江戸時代後期
14	二美人図	祇園井特	江戸時代中～後期	53	水辺鴛鴦に桜文様振袖	納戸羽二重地	明治時代初期
15	観桜美人図	三島上龍	江戸時代後期	54	四季花束文様振袖	鼠羽二重地	明治時代初期
16	扇美人図	三島上龍	江戸時代後期	55	春草文様振袖	鶺鴒縮緬地	明治時代前期
17	納涼美人図	三島上龍	江戸時代後期	56	桐文様振袖	紅繪子地	昭和10年代
18	舞妓納涼図	吉原真竜	江戸時代後期	57	梅樹蝶熨斗文様振袖	紅繪子地	江戸時代後期
19	常磐御前図	塩川文麟	江戸時代後期	58	几帳に桜紅葉文様長着	葡萄色平絹地	明治時代
20	夏美人図	歌川春貞	江戸時代後期	59	波千鳥文様振袖	鼠壁縮緬地	明治時代
21	妓女図	幸野樺嶺	明治6年	60	桜春草孔雀文様打掛	紅壁縮緬地	大正時代初期
22	官女図	伝・菊池容斎	江戸時代末期～明治時代	61	都風俗化粧伝 全	佐川半七丸：著 速水春暎：画	文化10年
23	百合女風流図	谷口香嶠	明治時代	62	当世化粧容顔艶考 坤	並木正三：著	文化11年
24	魯秋潔婦図	幸野樺嶺	明治18年	63	女教大全姫文庫	梅邦武：著	安永5年
25	伊賀局と天狗図	渡辺省亭	明治時代	64	絵本響の滝	水本深蔵：撰 西川祐吉：画	宝暦3年
26	久米仙人図	鈴木松年	明治時代	65	女一代風俗絵本十寸鏡	西川祐信：画	寛延元年
27	娘	菊池契月	明治40年代	66	櫛		江戸～明治時代
28	芸妓図	甲斐庄楠音	大正・昭和時代	67	簪		江戸～明治時代
29	おしろい	広田多津	昭和12年	68	髪飾りセット		江戸～明治時代
30	おばけ 〈個人蔵〉	堂本印象	大正初期	69	紙入れ		江戸時代
31	菫摘み	窠本一洋	大正元年頃	70	煙草入れ		江戸時代
32	夕暮〈京都府立鴨沂高等学校蔵〉	上村松園	昭和16年	71	筥迫		江戸時代
33	京舞	勝田哲	昭和47年	72	楊枝差し		江戸時代
34	猫と娘	三谷十糸子	昭和22年	73	鏡箱・柄鏡		江戸時代
35	舞妓	赤松燎	昭和46年	74	鏡立て		江戸時代
36	舞妓	杉浦隆	昭和60年	75	化粧道具一式		江戸時代
37	鴨川の夕涼み	梶原緋佐子	昭和48年	76	耳盥		江戸時代
38	京扇子 〈◇〉	皆川千恵子	昭和61年	77	角盥		江戸時代
39	舞う	堀井 香坡	昭和53年				

※〈◇〉は京都府蔵、ほか所蔵先表記のないものはすべて京都府立総合資料館蔵(当館管理)。

Ⅲ - 2 特別展示

1) 自主企画展

Ⅲ - 2 特別展示 ▶ 1) 自主企画展

①特別展 京の小袖 — デザインにみる日本のエレガンス

会 期：2011年10月29日(土)～12月11日(日)

[39日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

※ただし、10月31日は臨時開館

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,200円／大高生800円／中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都和装産業振興財団、毎日新聞社

後 援：第26回国民文化祭京都府実行委員会、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都経済同友会、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：野崎印刷紙業株式会社

協力者：切畑 健(京都国立博物館名誉館員)

担当者：林 智子、畑 智子

入場者数：42,919人(1日平均1,100人)

【概 要】

本展示会は、国民文化祭・京都2011の関連事業として開催された。京都の呉服の老舗である千總、丸紅に加え、近年まで京都でコレクションを管理していた松坂屋(現大丸松坂屋百貨店)のコレクションの染織文化財を中心に、小袖の変遷を紹介する展覧会として企画した。三社のコレクションは質量ともに圧倒的であったが、さらに、京都国立博物館はじめ公立私立の美術館博物館および個人から文化財を借用したことで、桃山時代から江戸時代末期にわたる小袖の歴史と魅力を十二分に紹介することができた。まさしく京都でなければ成立し得ない展覧会を実現することができ、来館者の満足度は非常に高く、染織文化財の研究者のみならず絵画史の研究者からも高い評価を得た。



「特別展 京の小袖」ちらし

なお、開催前日の10月28日に皇太子殿下の来臨があり、学芸課長 畑 智子が展示室で解説を行った。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 桃山時代 小袖文様の革新

重要文化財 松鶴亀草花文様肩裾小袖(泉大津市立織編館)／重要文化財 桐矢襖文様胴服(京都国立博物館)

第2章 江戸時代—慶長期「緻密」への転換、構図のダイナミズム

重要文化財 草花文様小袖(田畑コレクション) / 松藤に屏風文様小袖(個人蔵)

第3章 江戸時代—寛文期 あふれる明るさ

柳桜に箒文様小袖(株式会社千總) / 菊繋ぎ文様小袖(松坂屋コレクション)

第4章 江戸時代—元禄期 豪華絢爛、総文様の時代

重要文化財 束熨斗文様振袖(友禅史会) / 源氏物語文様小袖(丸紅株式会社)

第5章 江戸時代—享保・元文期 内省の美

春草文様小袖(丸紅株式会社) / 籠に萩と笹様小袖(株式会社千總)

第6章 江戸時代—宝暦期 散らし文様のしずけさ

曳船文様小袖(丸紅株式会社) / 水立涌に水草文様小袖(松坂屋コレクション)

第7章 江戸時代—文化・文政期「華」から「粋」へ—

洗練にむかう小袖文様

春景御所車御殿文様小袖(株式会社千總) / 御簾に唐子遊文様振袖(丸紅株式会社)

【出品数】約180点

【関連行事】

〔1〕講演会

a. 「小袖—コンテンポラリーアートを着る」

日時：10月29日(土)午後1時30分～3時

場所：本館3階フィルムシアター

講師：切畑 健

(京都国立博物館名誉館員・本展協力者)

参加者数：152名

b. 「京の小袖—展覧会のみどころ」

日時：11月26日(土)午後3時～4時30分

場所：本館3階フィルムシアター

講師：林 智子

参加者数：134名



「特別展 京の小袖」会場風景



切畑健氏による講演会の様子

〔3〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

11月4日(金)・25日(金)、12月9日(金)

担当：林

11月11日(金)

担当：畑

2) 共催展等

III-2 特別展示 ▶ 2) 共催展等

①日本画 きのう・京・あす

会 期：2011年7月9日(土)～8月21日(日)[38日間]

前期展示：7月9日(土)～7月31日(日)

後期展示：8月3日(水)～8月21日(日)

※展示替のため、8月2日(火)は休室

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

※7月11日、18日は開館、19日休館

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：半期券＝一般 800円／大高生600円／中小生
400円、通し券＝一般1200円／大高生900円
／中小生600円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都日本画家協会、
京都新聞社

後 援：NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、
第26回国民文化祭京都府実行委員会

助 成：京都ライオンズクラブ、公益財団法人秀明文
化財団、公益財団法人野村財団、公益財団法
人平和堂財団

担当者：植田彩芳子、市川 彰

入場者数：33,717人(1日平均887人)

【概 要】

2011年は、京都日本画家協会の創立70周年を記念する年にあたる。京都日本画家協会(設立当時は京都日本画家連盟)は、第2次世界大戦下の1941年、作家活動が厳しくなる中で、竹内栖鳳、菊池契月、西山翠嶂、川村曼舟、橋本関雪を顧問として設立された。戦後は、京都の日本画壇を代表する画家を会員として、歴史ある京都の美術の発展に大いに貢献してきた。

現在では、京都を中心に活躍する日本画家約550名により構成される総合的な団体として、所属団体を越えての会員相互の交流と、後進の育成を主な目的とし、展覧会活動等を行っている。所属を問わない切磋琢磨の場という本協会の特色は、全国でも稀有な存在であ



「日本画 きのう・京・あす」展 ちらし

り、京都ならではの土壌を基盤としていると言える。

本展覧会では、協会の歴史を歴代理事長・顧問の作品とともに振り返り、中路融理事長をはじめ、本協会に所属する会員による新作427点を紹介した。それらを通して、将来への更なる発展を目指したい。

なお本展覧会は、京都文化博物館のリニューアル・オープンを飾るものとなった。同時に、第26回国民文化祭・京都2011が開催されるにあたり、同年を「京都文化年」と位置づけて実施した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

京都日本画家協会ゆかりの日本画作品450点

* 京都日本画家協会[物故]歴代理事長・顧問作品23点

秋野不矩「紅裳」1938年 京都市美術館／上村松篁

「立葵」1971年 京都市立芸術大学芸術資料館／金

島桂華「画室の客」1954年 京都市美術館／三輪晁

勢「木屋町」1956年 京都府立総合資料館(京都文

化博物館管理)／山口華楊「鶏頭の庭」1977年 京

都市美術館、ほか

* 京都日本画家協会会員新作427点

池田道夫、岩倉 寿、上村淳之、烏頭尾 精、濱田

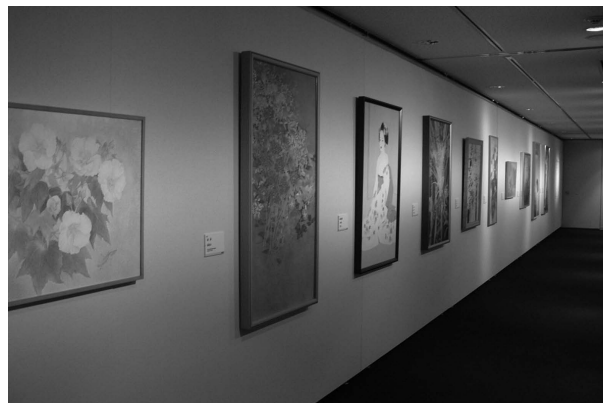
昇児、福本達雄、中路融人、玉手朋英、渡辺信喜、

石股 昭、鶴飼雅樹、雲丹亀利彦、川嶋 涉、北村

恵美子、黒光茂明、佐々木淳一、谷井俊英、西野

陽一、西田真人、堀江春美、山口 守、渡辺章雄、

渡邊妙子(以上協会役員)ほか



「日本画 きのう・京・あす」展 会場風景

【出品数】450点

【関連事業】

〔1〕 講演会「京都の日本画を語る」

日時：7月10日(日)午後1時30分～3時

場所：本館3階フィルムシアター

講師：中路融人(京都日本画家協会理事長・
日本芸術院会員)

参加者数：132名

〔2〕 出品作家によるギャラリートーク

第1回 7月16日(土)午後2時～3時30分

講師：渡辺章雄、石股昭、川嶋涉、北村恵美子

参加者数：65名

第2回 7月23日(土)午後2時～3時30分

講師：山口守、雲丹亀利彦、黒光茂明

参加者数：50名

第3回 7月30日(土)午後2時～3時30分

講師：佐々木淳一、鶴飼雅樹、谷井俊英

参加者数：60名

第4回 8月6日(土)午後2時～3時30分

講師：佐々木淳一、渡邊妙子、堀江春美

参加者数：70名



中路融人氏による講演会の様子

第5回 8月13日(土)午後2時～3時30分

講師：渡辺章雄、玉手朋英、西野陽一、
西田真人

参加者数：65名

第6回 8月20日(土)午後2時～3時30分

講師：山口守、渡辺信喜、渡辺章雄

参加者数：50名

〔3〕 担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

7月22日(金)、8月12日(金)

いずれも、担当：植田

② 帰ってきた江戸絵画—ニューオーリンズ ギッター・コレクション展

会 期：2011年9月3日(土)～10月16日(日)

[38日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,100円／大高生700円／中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、産経新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：日本写真印刷

協 力：日本航空

制作協力：NHKプロモーション

担当者：市川 彰、植田彩芳子

入場者数：45,931人(1日平均1,209人)

【概 要】

アメリカ・ニューオーリンズ在住の眼科医・ギッター博士とイエレン女史が、約40年近い歳月をかけて収集したコレクションの里帰り展。日本美術の「純粹で、シンプルで、素朴な」美しさ、とりわけ墨線の持つ多様な表現に魅せられたギッター氏は、禅画を中心に文人画、円山応挙派、琳派、浮世絵、奇想の画家、そして近代美術へとコレクションの幅をひろげてきた。与謝蕪村、池大雅、伊藤若冲、俵屋宗達、酒井抱一など江戸時代の絵画を中心とした日本美術の一大コレクションである。今回はその中から優品107件を選びすぎり、「アメリカ人の目でみた日本美術の魅力」に迫る内容となった。

【展覧会の構成】

1. 若冲と奇想の画家たち / 2. 琳派の多彩 / 3. 白隠と禅の書画 / 4. 自然との親しみ / 5. 理想の山水 / 6. 楽しいな人生



「ギッター・コレクション展」ちらし



「ギッター・コレクション展」会場風景

【主な出品作品】

伊藤若冲筆「寒山拾得図」／酒井抱一筆「朝陽に四季草花図」／神坂雪佳筆「輪舞図屏風」／白隠慧鶴筆「達磨図」／呉春筆「双鹿図」／与謝蕪村筆「夏景山水図」／池大雅筆「山水に稲田図」／浦上玉堂筆「火伏金生図」／谷文晁筆「山水図屏風」

【出品数】107件

【関連行事】

〔1〕記念講演会

a. 「ギターコレクションについて」

日時：9月10日(土) 午前2時～3時30分

場所：別館ホール

講師：佐々木丞平(京都国立博物館館長)

佐々木正子(京都嵯峨芸術大学教授)

参加者数：136名

b. 「京都画壇のスターたち－蕪村・若冲・大雅・応挙」

日時：9月23日(金)午前10時30分～12時

場所：本館3階フィルムシアター

講師：市川 彰(当館学芸員)

参加者数：148名

〔2〕記念コンサート

「“重陽”ジャズ・ナイトーニューオーリンズに寄せて」

日時：9月9日(金) 午後6時30分～

場所：別館ホール

出演：MAIKO(ヴァイオリン)、西川サトシ(ベース)、中村葉子(ピアノ)

参加費：1,000円

参加者数：123名

〔3〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

9月16日(金)・23日(金)、10月7日(金)・14日(金)

いずれも、担当：市川

③ ホノルル美術館所蔵 北斎展 葛飾北斎生誕 250 周年記念展

会 期：2012年2月1日(水)～3月25日(日)

[47日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円／大高生700円／中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、京都新聞社

協 力：ホノルル美術館

後 援：アメリカ大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

企画協力：アートシステム

協 賛：日本航空

担当者：市川 彰、村野正景

入場者数：96,602人(1日平均2,055人)

【概 要】

アジア美術の収蔵で世界的に知られるホノルル美術館には、約10,000点もの浮世絵版画が収蔵されており、その質の高さには定評がある。コレクションの中核をなすのは、ミュージカル『南太平洋』の原作者、ジェームス・A・ミッチェナー氏の寄贈による約5,400点の浮世絵作品であり、日本においても歌川広重の名品を中心とした里帰り展が幾度か開催されている。

だが、ホノルル美術館収蔵品には、葛飾北斎(1760～1849)の世界有数のコレクションがあることはあまり知られていない。2010年は北斎生誕250年にあたり、その記念事業の一環として、ホノルル美術館所蔵の優品170点を網羅した本展を開催した。

本展は二章で構成された。第1章では、デビュー当時の「春朗」時代の作品から最晩年の「地方測量之図」までを年代別に展覧して北斎の画業を概観した。第2章では、北斎の代表作「富嶽三十六景(44図)」をはじめ、「諸国名橋奇覧(全11図)」、「諸国瀧廻り(全8図)」、「琉

球八景(全8図)」、「詩哥写真鏡(全10図)」、「百人一首姥か絵説(全27図)」といった6種の揃物を紹介した。また、初公開2点を含む肉筆画3点も併せて展観。北斎芸術に触れるまたとない機会となった。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 名作にみる70年の軌跡

「富士見西行図」天明4-5年頃 柱絵判錦絵[*初公開] / 「新板浮絵 樊噲鴻門之会ノ図」寛政2年頃 横大判錦絵 / 「千絵の海 五島鯨突」天保初年頃 横中判錦絵 / 「牡丹に蝶」天保初-中期頃 横大判錦絵 / 「雪松に鶴」天保5年頃 長大判錦絵 / 「游亀」天保5年頃 長大判錦絵 / 「鷹」天保中期頃 团扇絵・錦絵 / 「勝景奇覧 信列陬防湖」天保中期頃 团扇絵・錦絵 / 「地方測量之図」嘉永1年 横大々判錦絵 [*初公開] / 「渡舟図」天保年代初頭頃 絹本着色 軸装 [*初公開]

第2章 輝ける晩年期の揃物

「富嶽三十六景 凱風快晴」天保2年前後 横大判錦絵 / 「富嶽三十六景 山下白雨」天保2年前後 横大判錦絵 / 「諸国瀧廻り 相州大山ろうべんの瀧」天保3-4年頃 縦大判錦絵 / 「諸国名橋奇覧 三河の八ッ橋の古図」天保4-5年頃 横大判錦絵 / 「琉球八景 長虹秋霽」天保3年頃 横大判錦絵 / 「百人一首乳母か繪と起 参議篁」天保6-7年頃 横大判錦絵 / 「百人一首宇波か繪と起 藤原道信朝臣」天保6-7年頃 横大判錦絵

【出品数】170点

【関連行事】

〔1〕記念講演会

「富嶽三十六景」の謎を解くー北斎と遠近法ー

日時：2月5日(日)午前10時半～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：岸 文和(同志社大学教授)

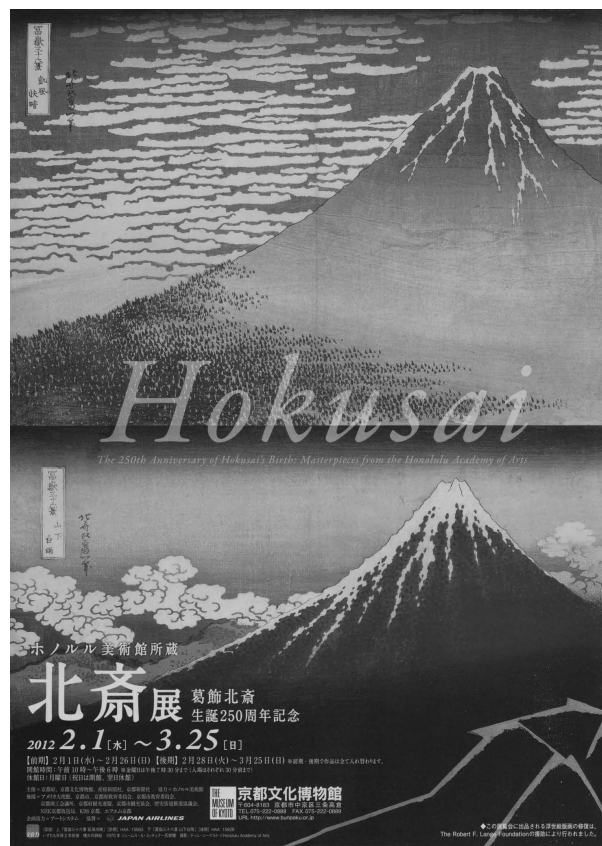
参加者数：159名

〔2〕記念落語会

「立春円笑落語会～北斎展に寄せて～」

日時：2月4日(土)午後2時～

場所：本館6階ミュージアムギャラリー



「ホノルル美術館所蔵 北斎展」ちらし



「ホノルル美術館所蔵 北斎展」会場風景

出演：月亭八方、笑福亭円笑ほか

参加者数：210名

〔3〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

2月10日(金)・24日(金)、3月2日(金)・16日(金)

いずれも、担当：市川

④ 今、文化芸術のチカラを！京都府美術工芸新鋭展 ～2012 京都美術・工芸ビエンナーレ～

会 期：2012年1月4日(水)～1月19日(木)

[14日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：《美術分野》4階展示室

《工芸分野》3階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞社
京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京
都総局、日本経済新聞京都支社、NHK京都放
送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会
議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家
協会、京都彫刻家協会

担当者：洲鎌佐智子

入場者数：6,162人(1日平均440人)

【概 要】

本展は、新進作家の育成を図るとともに、卓抜した

創造性・技術を備えた作品を紹介することにより、こ
れからの美術・工芸の一層の振興に努めるため、工芸
と美術の特色を活かしてそれぞれの分野を隔年で開催
してきたもの。今回は、文化芸術の力で大震災によっ
て疲弊した日本を勇気づけ、復興支援に寄与すること
を目的とし、国民文化祭・京都2011開催で培われた地
域の絆を一層強め、明日への希望につなげることをめ
ざして、美術・工芸の両分野での開催となった。

【出品数】

《美術分野》公募部門46点、招待部門15点

《工芸分野》公募部門79点、招待部門16点

【関連行事】

〔1〕出品作家によるギャラリートーク

展示室内にて、各日午後1時30分～3時頃

1月7日(土)・14日(土)

*2011(平成23)年度特別展一覧

展 覧 会 名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
日本画 きのう・京・あす展	2011.7.9～8.21	38	33,717	887	共催
帰ってきた江戸絵画 ―ニューオーリンズ ギッター・コレクション展	2011.9.3～10.16	38	45,931	1,209	共催
特別展 京の小袖 ―デザインにみる日本のエレガンス	2011.10.29～12.11	39	42,919	1,100	自主
京都府美術工芸新鋭展 ～2012 京都美術・工芸ビエンナーレ～	2012.1.4～1.19	14	6,162	440	委託
ホノルル美術館所蔵 北斎展	2012.2.1～3.25	47	96,602	2,055	共催
計5件		176	225,331	1,280	

3) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等からテーマ

を定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は、(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導などに協力している。

【京都府民ギャラリー展示作品一覧】

主催者	期間	開催場所	展示内容	点数
京都府	2011.4.20～6.30	京都府庁内	「京の四季」作品 入江西一郎「都をどり」ほか	6
京都府	2011.7.15～9.30	京都府庁内	「京の四季」作品 福井重男「夏の西本願寺」ほか	6
京都府	2011.9.30～12.26	京都府庁内	「京の四季」作品 今井文二「卓上」ほか	6
京都府	2012.1.13～3.30	京都府庁内	「京の四季」作品 木下育應「春宵西行桜(勝持寺)」ほか	6
				合計24点

Ⅲ- 3 映 画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2011.7.9～8.3	【京都文化博物館リニューアル記念企画】 京都映画リクエスト上映と 映画『祇園祭』上映	ぼんち／炎上／古都／切腹／祇園祭／剣／破戒／華岡青 洲の妻／大殺陣 雄呂血／大江戸の侠児／火宅の人	23	43	3,330
2011.8.5～7	第17回京都国際子ども映画祭	オランダで一番強い男／イップ／ビッグ・ブラザー／ど んぐりころころ／日曜日／私はまるい／ついせき／サル ウィン河を渡る／冬の少年／フランソワ・シャール／あぜ みちジャンピンッ!	3	9	702
2011.8.13	【京都国際学生映画祭プレ企画】 KISFVF × 京都文化博物館 ～京都国際学生映画祭名作セレクト上映～	おってくらんし／Martina and the moon／無／世界グッ ドモーニング!!	1	2	105
2011.8.9～14	映画俳優・長門裕之追悼上映	無法松の一生／太陽の季節／にあんちゃん	5	10	844
2011.8.16～9.25	東映創立60周年記念特集	ひめゆりの塔／新諸国物語 笛吹童子／鳳城の花嫁／白蛇 伝／ひばり捕物帖 かんざし小判／浪花の恋の物語／新 吾十番勝負／関の弥太っぺ／五番町夕霧楼／飢餓海峡／ 893 愚連隊／緋牡丹博徒 お竜参上／仁義なき戦い／序 の舞	28	56	4,377
2011.8.21	【東日本震災復興支援チャリティ・アニメ 上映会・京都国文祭「京都映像フェスティ バル」プレ企画】 アニメ、東北に届けでおじゃる in 京都	まかせてイルか／おじゃる丸・はさまりさん／おじゃる 丸・約束の夏／浦安鉄筋家族／ラーメン大戦／すごい よ!! マサルさん／世紀末リーダー伝 たけし!／トイレ の花子さん	1	2	198
2011.8.27、28	第6回映画フィルム復元ワークショップ 作品上映	長恨／銀輪／ロッパの水戸黄門／地獄門(デジタルリマス ター版)	2	8	873
2011.9.17～10.28	前進座80周年記念映画祭	河内山宗俊／人情紙風船／戦国群盗伝／阿部一族／その 前夜／元禄忠臣蔵(前篇)／元禄忠臣蔵(後篇)／どっこい 生きてる／箱根風雲録／美女と怪竜／武器なき闘い／怪 談	26	50	2,159
2011.9.27～10.2	映画監督石田民三特集	花火の街／花ちりぬ／むかしの歌	6	12	497
2011.10.29～11.6	文化庁メディア芸術祭京都展、 京都映像フェスティバル	四畳半神話大系／マイマイ新子と千年の魔法／カラフル ／涼宮ハルヒの消失／天上人とアクト人最後の戦い／け いおん!／フミコの告白／RAIN TOWN／狂った一頁／ 丹下左膳余話 百万両の壺／残菊物語／羅生門／地獄門／ 茶々 天涯の貴妃／鴨川ホルモー／不知火の恋／GENTA／ 古都奇譚 秋／宮津の鬼婆／流騒／The Ambush まちぶせ ／象煮／The Mistake 手ばかり／SAYONARAKEN さよな ら犬／The Battle／Purple and Gold／王の男	9	38	2,120
2011.10.8～30	【「お江とその時代展」記念上映】 お江の生きた時代を描く	出世太閤記／独眼龍政宗／笛吹川／反逆児／家光と彦左 と一心太助／忍びの者／柳生一族の陰謀／千利休 本覺坊 遺文	17	29	1,491
2011.11.10	映画テレビ技術者協会上映会	人間失格	1	1	68
2011.11.19～25	京都ヒストリカ国際映画祭	バトルフィールド・ヒーローズ - 平壤城／ブレイズ・オ ブ・ブラッド - 雲を抜けた月のように／ブラックソー ン - ブッチ・キャンディ 最期の決闘／ソロモン・ケーン／ AO - 最後のネアンデルタール人／黄山ヶ原	6	8	301
2011.11.26	京都国際学生映画祭	授賞式と受賞作品『グレンマアの話／TWIST&BLOOD』の 上映	1	1	45
2011.12.1～27	【生誕100年記念】 森一生監督特集	わたしの名は情婦／赤胴鈴之助 三つ目の鳥人／薄桜記／ 次郎長富士／不知火換校／大菩薩峠／大菩薩峠 電神の巻 ／大菩薩峠 完結編／新源氏物語／ある殺し屋	23	46	2,105
2012.1.4～29	自由を求めて! 戦後日本映画の探究	自由学校(松竹版)／自由学校(大映版)／太陽とバラ／ 狂った果実／裸の大將／愛と希望の街／不良少年／砂の 女／けんかえれじい／エロ事師より 人類学入門／肉弾 薔薇の葬列	23	46	2,236
2012.1.31～3.4	ぶんぱく青春映画祭 - ヨリ道ノススメ	春秋一刀流／風の又三郎／泥の河／南極物語／ルパン三 世 カリオストロの城／銀河鉄道999／恋する女たち／東 京上空いらっしやいませ／シコふんじゃった／青春デン ケケケケ／銀河鉄道の夜／オネアミスの翼 王立宇宙 軍／裸足のピクニック／打ち上げ花火、下から見るか? 横 から見るか?／少年たちは花火を横から見たかった／岸 和田少年愚連隊／キッズリターン／AKIRA／イノセンス ／大いなる幻影／UN loved／カナリア／69 sixty nine ／時をかける少女／サマーウォーズ／下妻物語／リンダ リンダ／百万円と苦虫女／SRサイタマノラッパー ／その街のこども 劇場版／武士道シックスティーン	30	60	4,098
2012.3.6～11	追悼・野村恵一監督特集	森の向う側／真夏の少年／ザ・ハリウッド／二人日和／小 津の秋	6	12	1,031
2012.3.13～4.1	没後30年 俳優志村喬の世界	赤西蛸太／江戸最後の日／姿三四郎／酔いどれ天使／野 良犬／生きる／七人の侍／生きものの記録／ゴジラ	17	34	2,316

2) 特別企画・共催事業

① 2011 年度共催上映等の実績

◆第17回京都国際子ども映画祭

〔共催〕キンダーフィルムフェストきょうと

〔期間〕8月5日(金)～7日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『オランダで一番強い男』『イップ』『あぜみちジャンピンッ!』等11作品の上映。西川文恵監督と主演女優・大場はるかによるゲストトーク。

〔鑑賞者数〕702人(234人／1日)

〔鑑賞者数〕198人(198人／1日)

◆第6回映画フィルム復元ワークショップ作品上映

〔共催〕大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、NPO映画保存協会、IMAGICAウェスト

〔協力〕東京国立近代美術館フィルムセンター

〔期間〕8月27日(土)～28日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕映画フィルムの復元についての講座と実習を行う第6回映画フィルム復元ワークショップにあわせて、近年復元された『長恨』『銀輪』等4作品を上映。

〔鑑賞者数〕873人(437人／1日)

◆【京都国際学生映画祭プレ企画】KISFVF×京都文化博物館～京都国際学生映画祭名作セレクト上映～

〔共催〕京都国際学生映画祭実行委員会

〔期間〕8月13日(土)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕京都国際学生映画祭の過去の入選作品から『おってんくらし』『世界グッドモーニング』等4作品をセレクト上映。

〔鑑賞者数〕105人(105人／1日)

◆前進座80周年記念映画祭

〔共催〕劇団前進座

〔期間〕9月17日(土)～10月28日(金)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕劇団前進座の創立80周年を記念して、前進座が参加した『河内山宗俊』『どっこい生きてる』等12作品を上映するとともに代表の中村梅之助氏による講演で前進座80年の歴史をふりかえる。

〔鑑賞者数〕2,159人(83人／1日)

◆【東日本震災復興支援チャリティ・アニメ上映会】アニメ、東北に届けでおじゃる in 京都

〔主催〕大地丙太郎、京都府、京都府教育委員会、第26回国民文化祭京都府実行委員会、京都文化博物館

〔期間〕8月21日(日)

〔会場〕別館ホール

〔内容〕東日本震災復興支援プロジェクトとして、アニメ『おじゃる丸』の監督である大地丙太郎監督作品の中から、『おじゃる丸』『すごいよ!! マサルさん』等ギャグ・アニメ8作品を上映。大地丙太郎監督と女性声優の齋藤彩夏さんのトークショーを開催した。東北から京都に避難しているご家族を中心に招待し、チャリティ募金も行った。

◆京都国文祭京都映像フェスティバル～前衛こそ伝統—京都の映画文化—

〔主催〕京都府、京都府教育委員会、第26回国民文化祭京都府実行委員会、京都文化博物館

〔協力〕東映京都撮影所、東映京都スタジオ、松竹撮影所、立誠まなびや実行委員会、京都シネマ

〔パートナーイベント〕KYOTO CMEX 2011

〔期間〕10月29日(土)～11月6日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター、別館ホール、元立誠小学校、京都シネマ

〔内容〕「京都映像フェスティバル」は、2011年秋に京都で開催される「第26回国民文化祭・京都2011」

の映像関連事業として、併催する文化庁メディア芸術祭と連携して、『地獄門』『茶々』等20作品の上映、津川雅彦氏(映画監督・俳優)、佐伯知紀氏(文化庁芸術文化調査官)、橋本一氏(映画監督)の講演会等を通じて、京都の豊かな映画・映像文化を、幅広い層に紹介し親しんでもらった。
[鑑賞者数] 1,528人(306人／1日)

◆文化庁メディア芸術祭 京都展

パラレルワールド京都 アニメーション部門上映会

[主催]文化庁
[共催]京都芸術センター、京都文化博物館、京都国際マンガミュージアム、第26回国民文化祭京都府実行委員会
[期間]10月29日(土)～11月6日(日)
[会場]本館3階フィルムシアター、別館ホール
[内容]「パラレルワールド京都」をテーマに、平成22年度文化庁メディア芸術祭の受賞作品を含めた多彩なメディア芸術の今日を、『四畳半神話体系』『けいおん!』等アニメーション映画8作品の上映と、森見登美彦氏(作家)と上田誠氏(劇作家・脚本家)の対談、京都アニメーション・スタッフである木上益治氏(アニメーション監督)、武本康弘氏(同)、石立太一氏(同)の座談会、石田祐康氏(アニメーション監督)の講演で紹介する。
[鑑賞者数] 1,107人(123人／1日)

◆日本映画テレビ技術者協会試写会

[共催]日本映画テレビ技術者協会
[期間]11月10日(木)
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]日本映画テレビ技術者協会美術賞受賞『人間失格』の上映。
[鑑賞者数] 68人(68人／1日)

◆第14回京都国際学生映画祭グランプリ作品の上映と授賞式

[共催]京都国際学生映画祭実行委員会
[期間]11月26日(土)
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]第14回京都国際学生映画祭のグランプリ作品『グレンマアの話』『TWIST & BLOOD』の上映と授賞式を開催。
[鑑賞者数] 45人(45人／1日)

◆第3回京都ヒストリカ国際映画祭

[主催]Kyoto HISTORICA International Film Festival 実行委員会
[構成団体]松竹撮影所、東映京都撮影所、京都府、立命館大学、京都文化博物館、東映京都スタジオ、ディレクターズ・ユニブ
[期間]11月19日(土)～11月25日(金)
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]「歴史」をテーマにした国際映画祭。世界中から『バトルフィールドヒーローズ』『ブレイズ・オブ・ブラッド』等、最新の歴史劇映画6作品を集めて上映。韓国映画のイ・ジュンイク氏(映画監督)の舞台挨拶も行った。
[鑑賞者数] 301人(50人／1日)

◆追悼・野村恵一監督特集

[共催]野村企画
[期間]2012年3月6日(火)～11日(日)
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]野村監督の一周忌のご命日(3月12日)にあわせ『ザ・ハリウッド』『二人日和』等5作品を上映し、併せて、中島貞夫氏、中村努氏らの座談会を開催。
[鑑賞者数] 1,031人(189人／1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け／大学生向け普及事業

◆ 日本映像学会関西支部第33回夏期映画ゼミナール

2011 愛と恋 さまざまなかたち

〔主催〕日本映像学会関西支部・京都府・京都文化博物館

〔共催〕京都ゼミナールハウス

〔期間〕7月29日(金)～31日(日)

〔会場〕京都府立ゼミナールハウス

〔内容〕『浪花の恋の物語』『赤い天使』『薄桜記』等9作品の上映とシンポジウム

〔鑑賞者数〕61名

◆ 第6回映画の復元と保存に関するワークショップ

〔共催〕大阪芸術大学、IMAGICAウェスト、プラネット映画資料図書館、神戸映画資料館

〔期間〕8月27日(土)～29日(月)

〔会場〕当館(8月27日、28日)、IMAGICAウェスト(8月29日)

〔内容〕映画フィルム復元に関する講義と実習

〔参加者数〕86名

◆ インターンシップの受け入れ

2011年度(前期)：立命館大学(映像学部2名)

◆ 第4回 京都映画若手才能育成ラボ

(Kyoto Filmmakers Lab 2011)

〔主催〕京都映画若手才能育成ラボ実行委員会(『京都府、映像産業振興機構京都事務所、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所』)

〔特別協力〕ディレクターズ・ユニブ

〔協力〕京都市サーチパーク 町家スタジオ

〔期間〕11月25日(金)～12月1日(木)

〔会場〕東映京都撮影所、松竹撮影所、当館3Fフィルムシアター、町家スタジオ

〔内容〕国内・海外の若手映画製作者を対象にして、東映京都撮影所、松竹撮影所のオープンセットを使い、短編時代劇作品を製作するワークショップ(公用語は英語)。時代劇セット、美術、照明、衣裳など本編映画と同じ施設・道具を使用し、京都伝統の本格的時代劇を体験する。web公募の結果、39カ国94名の応募があった。審査の結果12カ国から外国人13名(うち日本在住3名)、日本人7名の若手作家20名が審査を通過。それぞれの出身国は日本、韓国、台湾、アメリカ、イスラエル、イタリア、インド、スロベニア、イラン、フランス、ブルガリア、ジンバブエとなった。

〔参加者数〕20名

③ 子ども向け普及事業

◆ 【京都国文祭「京都映像フェスティバル」プレ企画】夏

休み! オモシロ映像体験ヤタイ祭!! まゆまるも来るよ!!!

〔主催〕京都府、京都府教育委員会、第26回国民文化祭京都府実行委員会、京都文化博物館

〔期間〕8月20日(土)

〔会場〕別館ホール

〔協力〕NPOキンダーフィルムフェストきょうと、京都芸術センター、立命館大学映像学部、大手前大学メディア芸術学部、慶應義塾大学SFC、株式会社デ

ィレクターズユニブ

〔内容〕小学生から大人までを対象に、スマートフォンなどを使って手軽に撮影できるアニメ体験、インターバル撮影等オモシロ映像製作を体験するワークショップを開催。会場内に10軒のオモシロ映像を製作体験できる屋台を出店、各屋台とも1時間のワークショップを設定して、参加者は興味のある屋台を選んで廻る形式。

〔参加者数〕206名

◆東北の子どもたちにとどけ！ビデオメッセージを作ろう!! 携帯端末、PDAを使った製作体験ワークショップ

〔共催〕NPOキンダーフィルムフェストきょうと
 〔協力〕大手前大学メディア芸術学部、にじいろシネマ、ディレクターズユニブ
 〔期間〕2012年3月10日(土)、11日(日)
 ・1日コース(3月10日)

・2日間コース(3月10日、11日)

〔会場〕別館2階講義室

〔内容〕手軽に映像製作ができるスマートフォンを使って、3月11日にあわせ、東北の子どもたちに送るビデオメッセージを製作するワークショップを開催。同時に東北の子どもたちの現状、東北の子どもたちが作ったアニメ作品も紹介した。

〔参加者数〕1日コース：26名、2日コース：13名

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、フィルムシアターでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2011年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2011.7.9～8.3	【京都文化博物館リニューアル記念企画】京都映画リクエスト上映と映画『祇園祭』上映
2011.8.4～14	映画俳優・長門裕之追悼上映
2011.8.16～9.25	東映創立60周年記念特集
2011.9.27～10.28	前進座80周年記念映画祭
2011.10.29～11.6	文化庁メディア芸術祭京都展、京都映像フェスティバル
2011.11.8～30	【「お江とその時代展」記念上映】お江の生きた時代を描く
2011.12.1～27	【生誕100年記念】森一生監督特集
2012.1.4～29	自由を求めて！戦後日本映画の探究
2012.1.31～3.4	ぶんぱく青春映画祭 - ヨリ道ノススメ
2012.3.6～4.1	追悼・野村恵一監督特集

4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	守田 晴美	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	藤井 貢	京都府文化芸術室長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	神山 俊昭	内部委員
森田 富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

Ⅲ- 4 その他

【クールスポット(総合展示室無料開放)の実施】

東日本大震災の影響により、夏の電力需給の逼迫が見込まれたため、京都府では府立の4つの文化施設(当館、堂本印象美術館、山城郷土資料館、丹後郷土資料館)を無料開放する取り組みを行った。当館では、8月2日(火)から31日(水)までの1ヶ月間、2階総合展示室および3階フィルムシアターの総合展示を無料開放し、12,994名が利用した。

【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2011年度の参加者は2,295人であった。

【小火の発生】

2012年3月25日(日)12時32分頃、本館2階女子トイレのハンドドライヤーから煙が発生、焼け落ちるという事故があった。館内の防火設備が作動し、速やかに消火され、怪我人はなく、展示物にも全く被害はなかった。小火発生後は、全てのハンドドライヤーを撤去したほか、館内の見回り点検の強化など、再発防止対策を行った。

IV 調査研究活動

IV- 1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 横山和弘・中世京都の権門寺院による寺領経営に関する研究
- 西山 剛・中近世移行期における祇園会神輿渡御と駕輿丁の変容
- 植田彩芳子・黒田清輝筆《昔語り》についての研究
- 村野正景・京都文化博物館におけるパブリック考古学的研究 I
- 橋本 章・京の年中行事に関する研究

【外部研究費・共同研究等による研究】

- 畑 智子・研究プロジェクト「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」(国際高等研究所 2010-2012)
- ・西田記念東洋陶磁史研究助成基金「陶磁胎七宝についての基礎的研究」
- 森脇清隆・文部科学省科学技術試験研究「デジタル・ミュージアム実現のための研究開発に向けた要素技術及びシステムに関する調査検討」(代表：立命館大学情報理工学部田中弘美教授)研究協力者

2) 出講・委嘱

- 畑 智子・福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
・創工会展 審査員
- 森脇清隆・文化庁芸術選奨推薦委員
・独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会専門委員
・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
・京都国際学生映画祭企画検討委員
・丹後映像フェスティバル審査委員
・芸術科学会関西支部幹事
- 洲鎌佐智子・滋賀県立陶芸の森陶芸館収蔵品収集審査会 委員
- ・姫路市美術展 審査員
・京都文化年推進支援事業補助金審査会 委員
・独立行政法人国立美術館購入等評価員
- 林 智子・文化学園大学文化ファッション研究機構 研究員
- 西山 剛・世界人権問題研究センター 嘱託研究員
- 橋本 章・日本民俗学会第28期 評議員
・京都民俗学会 理事
・日本民俗学会第63回年会実行委員会委員

3) 業績

IV-1 学芸員の活動 ▶ 3) 業績

①論文・著作

- 畑 智子・「明治期京都の工芸—中原哲泉についての覚書」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第24集所収、2012年3月)
- 植山 茂・「平氏の時代を遺跡からみる」(『NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛』展覧会図録所収、NHK・NHKプロモーション、2012年1月)
- 森脇清隆・「京都の映画文化と、その保存・活用」(京都文化財団『文化財レポート no.25』所収、

2012年3月)

・「京都文化博物館フィルムシアターのオープン」(東京国立近代美術館『フィルムセンター・ニューズレター』所収、2012年2月-3月号所収)

・「文化庁メディア芸術祭京都展におけるアニメーション上映について」(京都芸術センター『文化庁メディア芸術祭京都展報告書』所収、2012年1月)

洲鎌佐智子・『新天地を求めた京焼 清水焼団地五十年の歩み』展覧会図録 分担執筆(清水焼団地協同組合、2011年9月)

横山和弘・『NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛』展覧会図録 分担執筆(NHK・NHKプロモーション、2012年1月)

西山 剛・『NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛』展覧会図録 分担執筆(NHK・NHKプロモーション、2012年1月)

植田彩芳子・『日本画 きのう・京・あす』展覧会図録 分担執筆(京都日本画家協会、2011年7月)
・「マルク・シャガールと近代日本」(『シャガール展2012 愛の物語』展覧会図録所収、2012年2月)
・「黒田清輝筆《昔語り》と京都」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第24集所収、2012年3月)

村野正景・「エルサルバドル共和国の学校教育における遺跡訪問の現状と課題—文化遺産保護と基礎教育の連携向上を目指して—」(『ラテンアメリカ・カリブ研究』第18号所収、つくばラテンアメリカ・カリブ研究会編集部、2011年5月)

・「Los Entierros Encontrados en Tazumal, Chalchuapa, —Un Estudio de “Practicas

Mortuorias” —」(『XXIV Simposio de Investigaciones Arqueológicas en Guatemala』Vol.2 所収、Museo Nacional de Arqueología y Etnología、2011.07)、共著。

・『Informe preliminarIV “Resurgimiento de técnica antigua para elaborar cerámica y desarrollo de una nueva artesanía y material educativo —Una práctica de Arqueología pública en El Salvador』(inédito、entregado a la Secretaria de Cultura de la Presidencia、2011.07)

・「Practices of “Public Archaeology” in El Salvador」(『Canada Project in Kyushu』Vol.7 所収、The International University of Kagoshima、2011.11)

・「学芸員や研究者の立ち位置についての素描—パブリック考古学と関連分野のモデルに着目して—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第24集所収、2012年3月)

橋本 章・『近江の年中行事と民俗』(サンライズ出版、2012年1月20日)

・『彦根市史・民俗編』(彦根市、2012年3月)、共著。

・『修正会と宮座に関する一考察—乙訓郡小倉神社の宮座と行事—』(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第24集所収、2012年3月)

・『京のまつりと行事①—京の茅の輪くぐりについて—』(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第24集所収、2012年3月)

大矢敦子・「俄興行がもたらした映画受容の場への影響」(富田美香、木立雅朗、松本郁代、杉橋隆夫編『京都イメージ—文化資源と京都文化—』所収、ナカニシヤ出版、2012年3月)

②発表・講演

畑 智子・「特別展 京の小袖」展示解説(2011年11月11日)

森脇清隆・「デジタルミュージアムとフィルムアーカ

イヴの活動について」(講師、立命館大学アートリサーチセンター、2011年7月6日)

・「第6回映画フィルム復元ワークショップ—

映画アーカイヴの仕事について」(講師、京都文化博物館、2011年8月27日)

・「文化庁メディア芸術祭京都展プロジェクトチーム・トークイベント」(講演、京都芸術センター、2011年11月20日)

・「映画文化資料のデジタル・アーカイヴの最前線」(講演、立命館大学大学院、2012年1月10日)

・文化庁メディア芸術部門会議(講演、文化庁、2012年2月24日)

洲鎌佐智子・「京都やきもの散歩道」(講師、ラポール学園、2011年5月31日)

・「新天地を求めた京焼～清水焼団地50年の歩み～」展展示解説(2011年9月4日・11日)

市川 彰・「京都画壇のスターたちー蕪村・若沖・大雅・応挙」特別展記念講演会(2011年9月23日)

・「帰ってきた江戸絵画ーニューオーリンズギッター・コレクション展」展示解説(2011年9月16日・23日、10月7日・14日)

・「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説(2012年2月10日・24日、3月2日・16日)

林 智子・「京の小袖ー展覧会のみどころ」特別展記念講演会(2011年11月26日)

・「特別展 京の小袖」展示解説(2011年11月4日・25日、12月9日)

西山 剛・「応仁の乱後の京都社会ー町衆文化を中心にー」(大阪歴史懇談会、2011年9月18日)

・「中近世における禁裏駕輿丁の変容」(世界人権問題研究センター、2011年10月19日)

植田彩芳子・「日本画 きのう・京・あす」展展示解説(2011年7月22日、8月12日)

・「黒田清輝筆《昔語り》と京都」(2011年冬季風俗画研究会[於：立命館大学アトリサーチセンター]、2011年12月25日)

村野正景・「文化財保護と活用に係る青年海外協力隊事業の成果と課題ーエルサルバドル共和国におけるパブリック・アーケオロジー」(考古学研究会第57回研究集会[於：岡山大学]、2011年4月23日・24日)、共同発表。

・「Historia y los últimos resultados del

estudio de la técnica para elaborar la cerámica de estilo Usulután」(IV CONGRESO CENTROAMERICANO DE ARQUEOLOGÍA [於：Museo Nacional de Antropología de El Salvador]、2011.11.09)、共同発表。

・「いわゆるウスルタン様式土器の製作技法の検討」(古代アメリカ学会第16回研究大会[於：埼玉大学]、2011年12月3日)

橋本 章・「宮座と環境に関するミニシンポジウムー近江の事例を題材にー」(コーディネイター、日本民俗学会第63回年会ミニシンポジウム[於：滋賀県立大学]、2011年10月2日)

・「仏教と正月行事ー修正会とオコナイー」(講師、佛教大学四条センター公開講座[於：佛教大学四条センター]、2012年1月23日)

・「近江の祭り」と祈り」(講師、第5回あいこうか歴史塾[於：甲賀市立水口図書館]、2012年3月24日)

大矢敦子・「Onoe Matsunosuke and Materials Related to the Film, Chushingura (The Royal Forty-seven Ronin) in the Makino Mamoru Collection」(The Makino Collection at Columbia: the Present and Future of an Archive[於：EALAC Lounge of Kent Hall, Columbia University]、2011.11.11)

・「Making Databases of Film Distribution Records in the Meiji and Taisho Periods: A Case Study of Shinkyogoku and Nishijin, Kyoto(明治大正期の映画興行記録のデータベース化ー京都新京極・西陣の事例)」(ポスター発表、第2回日本文化デジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム(DH-JAC2011)[於：立命館大学]、2011年11月19・20日)、共同発表。

・「Theatrical Attractions in Films of the Onoe Matsunosuke Troupe(尾上松之助一派の映画に見られる演劇のアトラクション性)」(第2回日本文化デジタル・ヒューマニティーズ国際シンポジウム(DH-JAC2011)[於：立命館大学]、2011年11月20日)

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第24集】

発行：京都文化博物館

発行日：2012年3月31日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：B5判、78ページ

編集担当：畑 智子

所載記事：

〔論攷〕

・橋本 章

修正会と宮座に関する一考察

—乙訓郡小倉神社の宮座と行事—

・植田彩芳子

黒田清輝筆《昔語り》と京都

〔研究ノート〕

・村野正景

学芸員や研究者の立ち位置についての素描—パプ

リック考古学と関連分野のモデルに注目して—

・畑 智子

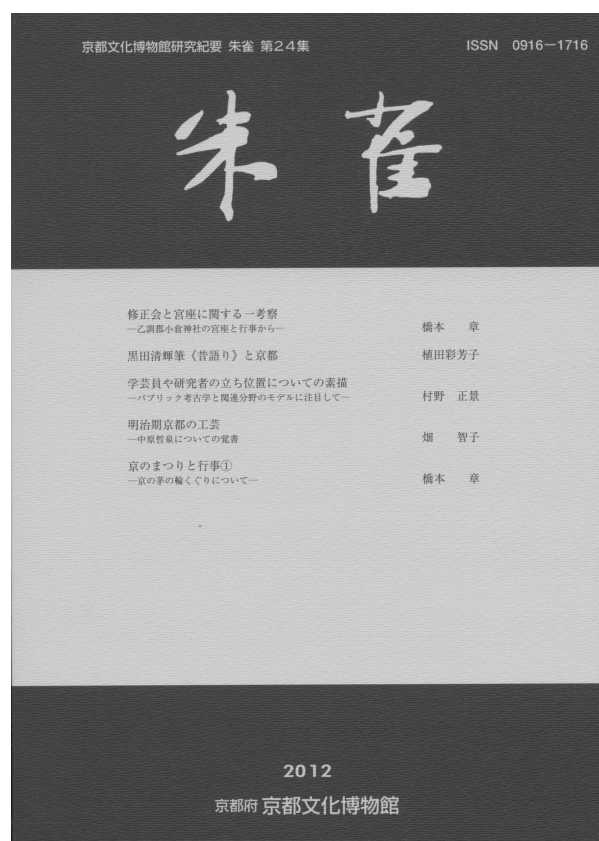
明治期京都の工芸—中原哲泉についての覚書—

〔資料紹介〕

・橋本 章

京のまつりと行事①

—京の茅の輪くぐりについて—



京都文化博物館研究紀要『朱雀 第24集』

2) 年報

【京都文化博物館2010(平成22)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2011年10月31日

印刷：三星商事印刷株式会社

体裁：A4判、50ページ

編集担当：畑 智子、逸見恵美子

3) 展覧会図録

【『京の小袖—デザインにみる日本のエレガンス』】

編集：京都文化博物館、毎日新聞社

発行：京都文化博物館、毎日新聞社

発行日：2011年10月29日

印刷：野崎印刷紙業株式会社

体裁：タテ25.5cm×ヨコ19.0cm、300ページ

V-2 講演会・音楽会

1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2011.7.9	細川 護熙	公益財団法人永青文庫 理事長	細川家の700年 文と武と美	総合展示「細川家 永青文庫コレクション」講 演会／リニューアルオープン記念講演会
7.10	中路 融人	京都日本画家協会理事 長・日本芸術院会員	京都の日本画を語る	「日本画 きのう・京・あす」展 講演会
7.22	植田 彩芳子	当館学芸員		「日本画 きのう・京・あす」展 展示解説
8.12	植田 彩芳子	当館学芸員		「日本画 きのう・京・あす」展 展示解説
8.20	吉田 孝次郎	財団法人祇園祭山鉾連 合会理事長	祇園御霊会と山鉾風流	総合展示「祇園祭—山鉾の名宝—」 記念講演会
9.3	中ノ堂 一信	京都造形芸術大学教授	清水焼その歩みと特色	「新天地を求めた京焼」展 シンポジウム・基調講演
9.4	洲鎌 佐智子	当館学芸員		「新天地を求めた京焼」展 展示解説
9.9	MAIKO／西川サ トシ／中村葉子	ヴァイオリン奏者／ベー ス奏者／ピアノ奏者	“重陽”ジャズナイト —ニューオーリンズに寄せて	「ギター・コレクション展」 記念コンサート
9.10	佐々木丞平 ／佐々木正子	京都国立博物館館長／ 京都嵯峨芸術大学教授	ギター・コレクションについて	「ギター・コレクション展」記念講演会
9.11	洲鎌 佐智子	当館学芸員		「新天地を求めた京焼」展 展示解説
9.16	市川 彰	当館学芸員		「ギター・コレクション展」展示解説
9.23	市川 彰	当館学芸員	京都画壇のスターたち —蕪村・若冲・大雅・応挙	「ギター・コレクション展」講演会
	市川 彰	当館学芸員		「ギター・コレクション展」展示解説
10.7	市川 彰	当館学芸員		「ギター・コレクション展」展示解説
10.14	市川 彰	当館学芸員		「ギター・コレクション展」展示解説
10.29	切畑 健	京都国立博物館名誉館 員、展覧会協力者	小袖—コンテンポラリーアートを着る	「特別展 京の小袖」講演会
11.4	林 智子	当館学芸員		「特別展 京の小袖」展示解説
11.11	畑 智子	当館学芸員		「特別展 京の小袖」展示解説
11.25	林 智子	当館学芸員		「特別展 京の小袖」展示解説
11.26	林 智子	当館学芸員	京の小袖—展覧会のみどころ	「特別展 京の小袖」講演会
12.9	林 智子	当館学芸員		「特別展 京の小袖」展示解説
2012.2.4	月亭八方／笑福 亭円笑 ほか	落語家	立春円笑落語会～北斎展に寄せて～	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」記念落語会
2.5	岸 文和	同志社大学教授	「富嶽三十六景」の謎を解く —北斎と遠近法—	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」記念講演会
2.10	市川 彰	当館学芸員		「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説
2.24	市川 彰	当館学芸員		「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説
3.2	市川 彰	当館学芸員		「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説
3.11	藤井 健三 ／土田 勝	染織研究家 ／立命館大学客員教授	船鉾の懸装品について —祇園祭・船鉾の名宝展から—	総合展示「祇園祭—船鉾の名宝—」 記念講演会
3.16	市川 彰	当館学芸員		「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説

2) 音楽会

① 京都文化博物館音楽会シリーズ「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会

協賛：吉忠株式会社

協力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎

(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団評議員)

【歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・20】

本音楽会は、今年度で最終シリーズとなった。リニューアルオープン記念に加え、東日本大震災被災者支援チャリティーコンサートとして開催し、入場料は震災復興義援金として京都府を通じ日本赤十字社に寄付した。

【歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・20】

第1夜 ヴァイオリン名曲散歩道	2011年7月11日	170名
<p>お話 岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)</p> <p>演奏 田辺良子(ヴァイオリン)/笹村直子(ピアノ)</p> <p>曲目 ルクレール：ヴァイオリン・ソナタ 二長調 Op.9-3 ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調「春」 Op.24 クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ、美しきロスマリ サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン(ジプシーの歌) Op.20</p>		
第2夜 ピアノ名曲散歩道	2011年9月13日	182名
<p>お話 岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)</p> <p>演奏 田淵千代子(ピアノ)</p> <p>曲目 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番「月光」Op.27-2 ヒナステラ：ピアノ・ソナタ第1番 ショパン：華麗なるワルツOp.34-1、幻想即興曲Op.66、ポロネーズ「軍隊」Op.40-1、ノクターンOp.9-2、エチュード「革命」Op.10-12 リスト：献呈、パガニーニによる大練習曲 No.3「ラ・カンパネラ」</p>		
第3夜 歌曲名曲散歩道—心に染みる歌の花束—	2011年11月10日	214名
<p>お話 岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)</p> <p>演奏 三井ツヤ子(メゾソプラノ)/久保千尋(ピアノ)</p> <p>曲目 シューベルト：夕映えに、ます、アヴェ・マリア、野ばら、菩提樹 プラームス：ジプシーの歌 山田耕筰：この道、かやの木山、待ちぼうけ、曼樹沙華 中田喜直：むこうむこう、行く春、サルビア、夜店の歌、歌を下さい レーヴェ：魔王 リスト：ローレライ</p>		
第4夜 ピアノトリオ散歩道	2012年2月28日	178名
<p>お話 岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)</p> <p>演奏 鈴木華重子(ピアノ)/日比浩一(ヴァイオリン)/日野俊介(チェロ)</p> <p>曲目 ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調「街の歌」Op.11 ショパン：幻想即興曲 サン＝サーンス：白鳥 京都府民謡：竹田の子守唄 フォスター：夢路より ファリャ&クライスラー：スペイン舞曲 アレンスキー：ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 Op.32</p>		

② リニューアルオープン記念イベント

【ミュージアムコンサート & 三条通ウッドデッキ・中庭
ウッドデッキイベント】

日時：2011年7月9日(土)

別館ホール演奏者：

和紗 <国文祭テーマソング>

みやこ・キッズ・ハーモニー <わらべうた>

FRICKA FREIA <女声アンサンブルコーラス>

満月堂 <フォーク>

オルケスタ山崎 <ビッグバンド>

三条通ウッドデッキ(東側)出演者：

2e'sC <バスケットボールパフォーマンス>

まゆまるPR

パーカーズ <スタチューパフォーマンス>

三条通ウッドデッキ(西側)出展者：

井筒八ッ橋本舗 <八ッ橋>

おいしい食の応援隊<丹波の新鮮野菜と特産品>

京鳴海 篁庵 <和菓子>

フロマージュウ <洋菓子>

中庭ウッドデッキ 出展・出演者：

文化庁メディア芸術祭京都展

<アートインスタレーションとパネル展示>

パーカーズ <スタチューパフォーマンス>

入場者数：850人

【ろうじコンサート】

日時：2011年7月10日(日)

第1回 午後2時～3時20分

第2回 午後4時～5時20分

主催：京都文化博物館ろうじ店舗博和会

共催：京都文化博物館

後援：京都商工会議所、NHK京都放送局、京都新聞

会場：別館ホール

演奏：津田佐代子<フルート>

Sound Trap Orchestra<ジャズ>

入場者数：500人

【リニューアル記念

<東日本大震災被災者支援チャリティーコンサート>

【ぶんぱくミュージアムコンサート】

日時：2011年7月12日(火)・13日(水)・14日(木)

各日とも、1回目午後2時～2時40分

2回目午後4時～4時40分

会場：別館ホール

演奏：

7月12日 テオフィール室内合奏団 <室内楽>

7月13日 Grand Chariot <フルートアンサンブル>

7月14日 アンサンブル Rin<アンサンブルグループ>

入場者数：750人

③ 祇園祭協賛事業：宵山ミュージアムコンサート <リニューアルオープン記念>

【第22回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：2011年7月16日(土)

第一部 午後4時30分～6時

第二部 午後7時～8時30分

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ

店舗博和会

会場：別館ホール

演奏：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)

入場者数：500人

【祇園祭ミュージアムコンサート—音楽の玉手箱—】

日時：2011年7月17日(日)・18日(月・祝)

7月17日 午後12時30分～8時

7月18日 午後1時20分～8時

主催：京都文化博物館・京の三条まちづくり協議会

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ
店舗博和会

会場：別館ホール

演奏：

7月17日 アールグレイ <Jポップス>
花とおじさん <60年代オールディーズ>
カケラバンク <Folk, Rock>
THE JUKE BOX<オールディーズ、ポップス>
ニューサウンズ・コンボ <ジャズ>
カイピリィーニャ マミ・ジャズトリオ
<ジャズ、ブラジル音楽>
Purities <フォークソング、ポピュラー>
くろじん↑ <アコースティック>
ブルーグラス・カーネルズ <ブルーグラス>

7月18日 Violin×2(ビオリン・ポル・ドス) <タンゴ>
One Voice Kawanishi <ブラックゴスペル>
エルマノスミシナ&ステラ <ラテン>
Drakskip <北欧伝統音楽>
モアニアラ フラ スタジオ&ルアナ
<ハワイアン、フラ>
LASSIE <オールドタイムミュージック>
サントロペーの仲間たち
<シャンソン、カンツォーネ、ラテン>
ニューシャープハードオーケストラ
<ジャズ、ポップス、ラテン等>

入場者数：3,000人

V-2 講演会・音楽会 ▶ 2) 音楽会

④その他のコンサート

【オータムミュージアムコンサート】

日時：2011年11月12日(土)、13日(日)

各日とも、午後1時～6時

会場：別館ホール

演奏：

11月12日 ピープルパイパー <フルート&ピアノ>
Juuune's <打楽器デュオ>
くろじん↑ <アコースティック>
澤田よしひろ <フォーク>
Grand Chariot <フルートアンサンブル>
満月堂 <フォーク>

11月13日 Drakskip <北欧伝統音楽>
Tango ATM <アルゼンチンタンゴ>
アンサンブル・テオフィール <室内楽>
アンサンブル・セリオーズ
<弦楽アンサンブル>
Duo Feder
<小澤まり子・山本惇加/ピアノ連弾>
オルケスタ山崎 <ビッグバンド>

入場者数：1,640人

V-3 学習普及活動

1) ボランティア

【新ボランティアの体制について】

2011年7月9日のリニューアルオープンに伴い、新ボランティア体制が活動を始めた。ボランティアは“ぶんぱくボランティアガイド”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれている。“ぶんぱくボランティアガイド”は2階総合展示室の案内を行う“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務を行う“イベント・サポートスタッフ”からなる。

フロアスタッフは日本語56名、英語28名、中・韓・伊のその他の外国語8名の92名が朝10時から夜7時30分までの間、3交代制で活動を行っており、その他の外国語は事前予約による対応となっている。また通史部分については、京阪バスの「京都観光ルート」や「京の雛めぐりルート」に組み込まれていた期間について、フロアスタッフが定期的案内を開催してきた。

イベント・サポートスタッフは20名で、イベントのサポート業務にとどまらず企画も行っている。今年度はぶんぱく子ども教室として「ぶんぱくでひな祭り」「館内ぐるぐる探検ツアー」を企画・運営した。

アソシエイトボランティアは73名を数え、博物館の

広報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をもたらすなどの活動を行っている。

今年度は開館前後にフロアスタッフを対象として集中的に展示室ガイドの研修を行ったほか、「雛人形展」など通史以外の総合展示や特別展「北斎展」などについても3回(それぞれ複数回開催)の研修を開催した。いずれも、コミュニケーションの機会を増やすとともに知識およびモチベーションの向上をはかることを目的とし、研修に務めてもらった。



ボランティア研修の様子

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

今年度からは学習普及・外部連携室が軸となり、学芸員の企画による、あるいはボランティアスタッフが主体となって企画運営を行う「ぶんぱく子ども教室」の活動を行った。また今年度は「平成23年度文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)ミュージアム活性化支援事業」の補助を受けての開催となった。

学習普及・外部連携室チーム(洲鎌佐智子、村野正景、高桑鉄則、田中真希代)

【第1回／私の百鬼夜行絵巻 ワタシのモチモノ、ワタシのキモチ】

日時：2012年2月18日(土) 午前11時～午後4時

外部講師：山本みどり

(デザインコンパス教育普及担当)

参加者数：5名

実施目的：

- ①「百鬼夜行絵巻」という資料群に対する知識を深める。
- ②絵巻物の広げ方、巻き取り方など基本的な扱い方を学習する。

- ③自らの生活の中にある身近な道具を素材に、その道具の由緒・来歴を確認しながら、それに対する愛着を再認識する。
- ④身近な道具の来歴を踏まえ、絵画表現を試み、その道具に対する新たな価値付けを行う。

【第2回／教えて考古学 拓本教室】

日時：2012年2月19日(日)午後2時～4時

参加者数：19名

実施目的：

- ①拓本の楽しさ、とりわけ墨と紙で物の形が表現できる楽しさに気づいてもらう。同時に拓本のマナーにも気づいてもらう。
- ②博物館所蔵の資料について子供たちに興味をもってもらう。とくに、考古資料に興味をもってもらう。
- ③新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。
- ④博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。

【第3回／のぞいてみよう世界のごはん! たべてほしいな京都(うち)の味!!】

日時：2012年2月25日(土)午後2時～4時

外部講師：佐藤友紀(開発教育協会 大阪事務所長)

参加者数：8名

実施目的：

- ①文化の多様性のすばらしさを感じ、世界の人々の生活のあり方を知る。
- ②食にまつわる問題とそれらと自分の関わりに気づく。
- ③自分自身の食生活やライフスタイルを見つめなおす。
- ④世界や地域の社会のあり方について考える。
- ⑤京都にいる自分たちの食文化の特色を再発見する。

【第4回／ふんぱくでひな祭り

～おひな様のお話と工作～

日時：2012年2月26日(日)

第1回 午前10時30分～

第2回 午後1時30分～

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：第1回=10名、第2回=11名

実施目的：

- ①ひな祭りの歴史や文化を知ること、日本の伝統行事の素晴らしさを感じてもらい、興味を持ってもらう。
- ②ひな人形を自分で作ることで、ひな祭(ひな人形)をこれまでよりも身近に感じてもらう。
- ③このイベントを通して博物館に親しんでもらう。
- ④ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第5回／館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2012年3月3日(土)午後2時～4時

参加者数：小学生42名(保護者も多数同行)

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。



「館内ぐるぐる探検ツアー」の様子

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2011年度の来館件数は128件であった。このうち解説を行ったのは、78件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の4割をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では中

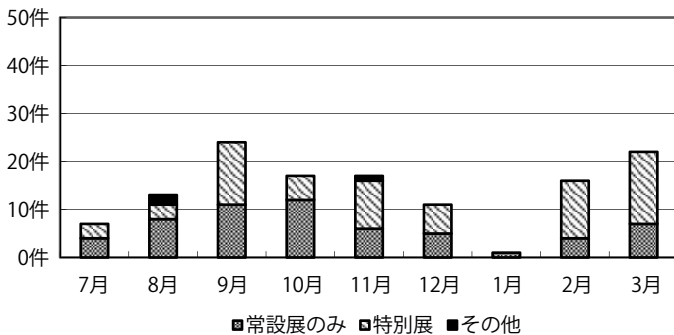
学校が一番多く、大学、高校、がつづく。

本年度はリニューアル工事に伴い、7月8日まで休館となっていた。その為、団体見学数は少なめではあったが、全体的に総合展示を目的に来る割合が昨年と比べ増加しており、また、その半数以上が展示解説を希望するなど、新しくなった展示に興味、関心が多くよせられていることが伺える。

【2011年度団体見学案内件数】

2011年度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	219	306	1078	826	283	346	4	441	465	3,968
来館件数	7	13	24	17	17	11	1	16	22	128
解説件数	6	8	16	9	7	9	1	6	16	78

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	3
中学校	20
高校	10
専門学校	1
大学	18
支援学校	2
一般	74
合計	128

V-4 博物館実習

【実施期間】

2011年8月2日(火)～8月5日(金)

【実習生】

京都府立大学…………… 4名
立命館大学…………… 4名
京都造形芸術大学…………… 2名
京都外国語大学…………… 2名
京都光華女子大学…………… 1名
京都文教大学…………… 1名
摂南大学…………… 1名 (計15名)

【実習内容／担当者】

- ・博物館の概要・館内見学／植山 茂、畑 智子
- ・美術資料について／市川 彰、植田彩芳子
- ・工芸品について／洲鎌佐智子
- ・染織品について／林 智子
- ・文献資料について／横山 和弘、西山 剛
- ・考古資料について／植山 茂
- ・民俗資料について／植山 茂
- ・学習普及活動参加／洲鎌佐智子
- ・映像資料について／森脇 清隆
- ・まとめと反省／全担当学芸員

V-5 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約75,890冊、逐次刊行物約3,080タイトル(72,960冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約32,500冊、展覧会図録が約12,800冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの

図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約2,450件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約520冊、展覧会図録が約280冊、年報・紀要類が約390冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

当館に於けるwebサイトの運用は、2005年6月に現在のデザインを導入して以来、随時、改良とページの追加などを行い、そのアクセス数は増加してきた。2011年度の特徴として特別展スケジュールへのアクセス数が昨年より伸びている。そのため特別展・総合展示の内容をわかりやすく紹介し来館者増につなげる努力をしている。また、画面デザインも見やすく改良し親しみやすいホームページを目指している。

【ホームページの利用状況】

2011年度	総 数	一日平均
アクセス数	635,517	1,736
ページビュー	1,642,924	4,501
内訳上位		
1. トップページ	414,119 (25%)	
2. 特別展	232,691 (14%)	
3. 地図交通機関	115,470 (7%)	
4. 特別展スケジュール	110,754 (7%)	
5. 映像ホール	81,854 (5%)	

V-6 外部連携活動

1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

①京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、京都文化博物館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑に行う目的で、京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」が2009(平成21)年6月12日に発足した。2011(平成23)年度は、「京都ミュージアムズフォー連携講座」(年間4回、各館持ち

回り/当館では、11月26日「京の小袖一展覧会のみどころ」※p.22参照を開催したほか、4館合同で各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットを作成し、あわせてスタンプラリーを実施した。また各館友の会の相互割引制度を開始した。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

②事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2011年11月19日、20日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,416人(19日:601人、20日:815人)の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2011」への参加】

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)を中心とした合計68施設で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2011」事業に参加した。主催は前

述の68施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2011」実行委員会である。1冊1,000円で販売するパス(普及版)を購入すると、最初の利用日から3ヶ月間、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。また、プレミアム版(1冊1,800円で利用期間6ヶ月)や大学生版(1冊900円・3ヶ月)、高校生版(1冊800円・3ヶ月)もあわせて発行し販売に努めた。当館については、総合展示が無料、特別展示が前売り券料金となる特典を設定した。2011年度の当館での利用者数は、総合展示252人、特別展示445人であった。

2) 地域との連携

【「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力】

今年も昨年に引き続き、10月1日(土)から12月25日(日)まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を前売り料金に割引している。特に今年度は、特別展「京の小袖—デザインにみる日本の

エレガンス」を開催(10月29日~12月11日)したため、展覧会初日の10月29日に限り、きもの着用の来館者を無料とした(利用者は1,045人)。期間中は和服姿の来館者が多く、利用者も多かった。今年度の利用者数は、特別展示への入館者は1,195人(割引)、総合展示利用者は1名であった。

また、協賛企画として、映像ホールで、「お江の生きた時代を描く」と題して映画の特集上映を行った。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、財団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きもの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

【「まちなかを歩く日」への参加と協力】

地域住民・団体が中心となってすすめている「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」(2000年7月設立)が今年12年を迎えた。活動趣旨の啓発と普及を図るために11月に地域全体で開催する今年の「まちなかを歩く日」は、「まちなかを歩く日2011」として、11月12(土)・13日(日)を中心に、京のまちなか9学区(城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠)ではさまざまな活動が行われた。当館も例年通り以下の活動に参加した。

◆主催事業

〈三条高倉まちかどミュージアム〉

会 場：京都文化博物館周辺、三条通り(寺町～堀川間)を中心とした8元学区(生祥・日彰・明倫・本能・柳池・初音・龍池・城巽)内の店舗、施設など

会 期：2011年11月5日(土)～27日(日)
午前10時～午後5時

内 容：1. まちなかのお店前に「お宝」や「道具」「思い出の品」などを展示

2. まちの思い出を写真パネルにしてまちなかに展示

3. まちの歴史や文化を「駒札」にしてまちなかに展示

※これらを掲載したマップでまちなかを回遊し、まちの魅力を再発見してもらう活動。新規ミュージアムは昨年より5カ所(お店3カ所、駒札2カ所)増えた。歩いて暮らせるまちづくり推進会議、京の三条まちづくり協議会、三条通りを考えよう会、明倫まちづくり委員会、本能まちづくり委員会など地域の方々の協力を得た。

参加者数：のべ約12,200人

◆協力事業

〈姉小路行灯会への協力〉

日 時：2011年8月20日(土)

午後5時30分～9時頃

※但し、途中雨天のため終了時間繰り上げ。

内 容：姉小路を考える会が例年開催している行事で、烏丸～富小路間の姉小路通りの両側により400基以上の行灯を並べ御池中学校の生徒によるプラスバンド行進などの各種イベントが行われる。当館ではこの行灯20基を製作・設置し、同行事への協力を行っている。

◆関連催事

〈オータム・ミュージアム・コンサート〉

開催日：11月12日(土)・13日(日) ※p.43参照

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引

【会費】

- ・A会員=年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上)=年会費5,000円/1名
- ・B会員=年会費4,000円

【会員の概要】

リニューアルオープンに際し、個人会員を二つの区分に分け、従来の個人会員と同様の内容(特典・会費)を有するA会員のほかに、総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とされる方々のために新しくB会員(特別展の観覧は年2回まで、年会費4,000円)を設けた。

A会員・グループ会員の会員数も回復傾向にあるが、B会員を設けたことにより会員数が大幅に増加した。またB会員は比較的廉価なため、20・30代の新規加入にも一役買っているとみられ、昨年度までの緩やかな高齢化に一定の歯止めをかけることができた。

また、同じくリニューアルオープンを期に継続加入者の年会費を割引にした(A会員500円引き、グループ会員300円引き)。昨年度よりも会員の更新率は上昇しており、継続加入に対して会費の割引という特典を付けたことが影響していると考えられる。

今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して

●会員数の推移

	(単位:名)		
	2011年度	2010年度	2009年度
A会員	459	435	482
グループ会員	214	160	171
B会員	139	—	—
計	812	595	653

●新規加入者数

	(単位:名)
A会員	106
グループ会員	79
B会員	139
計	324

●職業

	(単位:名)
会社員	129
公務員	22
教員	27
自営業	67
自由業	25
学生	14
その他	58
無職	466

●男女構成

男性	59%
女性	41%

●年齢分布

	(単位:名)
10代	0
20代	20
30代	37
40代	61
50代	128
60代	250
70代	227
80代	81
90代以上	5
不明	3
最高齢	98歳
平均	63.84歳

●住所分布

	(単位:名)
京都市内	582
京都府内	87
近畿圏内	130
その他の府県	13

(近畿圏内の内訳)

大阪府	73
兵庫県	27
滋賀県	23
奈良県	7
和歌山県	0
計	130

次年度以降も継続して加入してもらえるよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図っている。

2) 事業概要

① 文化講座

【「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」関連事業】※p.26参照

- a. コンサート鑑賞「重陽”ジャズ・ナイト～ニューオーリンズに寄せて～」(9月9日午後6時30分～、於：別館ホール)
*友の会参加者数：2名
- b. 文化講座「ギッター・コレクションについて」(9月10日午後2時～、於：別館ホール)
*友の会参加者数：8名
- c. 文化講座「京都画壇のスターたち～蕪村・若冲・大雅・応挙～」(9月23日午前10時30分～、於：本館3階フィルムシアター)
*友の会参加者数：14名

【「特別展 京の小袖」関連事業】※p.22参照

- a. 文化講座「小袖—コンテンポラリーアートを着る」

(10月29日午後1時30分～、於：本館3階フィルムシアター)

*友の会参加者数：8名

- b. 文化講座「京の小袖—展覧会のみどころ」(11月26日午後3時～、於：本館3階フィルムシアター)
*友の会参加者数：11名

【「ホノルル美術館所蔵 北斎展」関連事業】※p.27参照

- a. 落語会「立春円笑落語会～北斎展に寄せて～」(2月4日午後2時～、於：本館6階ミュージアムギャラリー)
*友の会参加者数：13名
- b. 文化講座「『富嶽三十六景』の謎を解く—北斎と遠近法—」(2月5日午前10時30分～、於：本館3階フィルムシアター)
*友の会参加者数：14名

② 見学会

【歌舞伎ミュージアムat南座『猿之助歌舞伎の魅力』】

- a. 平成23年5月19日(木)午前10時～12時
場所：南座
講師：南座支配人 飯島 義裕
参加者数：82名(友の会53名、ボランティアガイド研修生29名)
- b. 平成23年5月21日(土)午前10時～12時
場所：南座
講師：南座監事室 小林 雄次郎
参加者数：57名(友の会34名、ボランティアガイド研修生23名)

【リニューアルオープン記念特別企画

見学会「総合展示室 特別解説」】

- 日時：平成23年7月23日(土)
- a. 午前10時～、b. 午後2時～
 - c. 午後4時～ (各回平均1時間)
- 場所：本館2階 総合展示室
講師：a. 西山 剛、b. 横山 和弘、c. 村野 正景
(いずれも、当館学芸員)
- 参加者数：a. 13名、b. 7名、c. 8名

【見学会「京都名所散策シリーズ ~『都名所図会』を読み解く~」①】

日時：平成24年3月24日(土)

午後1時30分～午後4時30分

場所：南禅寺～永観堂

講師：市川 彰(当館学芸員)

参加者数：21名

③ 協力企画

【第87回文化財研修講座「野村碧雲荘」見学会】

主催：財団法人京都文化財団 文化財保護基金室

日時：平成24年2月24日(金)

a. 午前9時30分～、b. 午前11時～、

c. 午後1時30分～、d. 午後3時～、

(各回約1時間)

場所：野村碧雲荘

講師：野村殖産株式会社 堤 幸一、梅津 雄司

友の会参加者数：a. 5名、b. 5名、c. 5名、d. 5名



「野村碧雲荘」見学会の様子

Ⅵ ギャラリー事業

Ⅵ- 1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各

1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2011年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2011年 6月 3日	2011年12月～2012年 3月	11
11月 8日	2012年 4月～2012年 7月	13
2012年 2月21日	2012年 8月～2012年11月	17

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月1週間以内と定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・

工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2011年度の利用件数は、35件であった。

【作家利用一覧】

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
2011 7.26～7.31	展・2 2<リニューアルオープン記念>	日本画	9.29～10.1	絵更紗画林展	染 織
7.26～7.31	第15回種々展<リニューアルオープン記念>	日本画	10.19～10.23	第13回 京都現代写真作家展	写 真
8.10～8.14	第20回帆の会展	洋 画	10.14～10.16	辛酉会書展	書
8.10～8.14	第6回洛中写真組展	写 真	11.16～11.20	平成23年度 京の名工展 併催 若手職人「京もの認定工芸士」作品展	工芸総合
8.10～8.14	—書— 板倉華游展(あるべきようはⅢ)	書	11.23～11.27	第23回工芸美術 創工会展	工芸総合
8.16～8.21	第19回光熱能面會展	諸工芸	12.14～12.18	第31回平安書道会聚英展	書
8.17～8.21	亀村俊二写真展「日本のこころ一時空」	写 真	12.14～12.18	第3回洛展	日本画
8.17～8.21	芽生展	日本画	12.20～12.23	日中交流・第6回古都(湖都)百景芸術大賞展	美術総合
8.17～8.21	書八月の会	書	1.26～1.29	第33回 京都現代書芸展	書
8.24～8.28	第30回六轡会篆刻作品展	書	1.26～1.29	第5回書の森展	書
8.24～8.28	第16回現代・文人光画展	写 真	2.10～2.12	2012年度 京都橘大学 卒業制作展	書
8.31～9.4	第54回あまがつ会人形展	諸工芸	2.23～2.26	水明書道会 第6回墨聚展	書
8.31～9.4	第66回京都丹平写真展	写 真	3.14～3.18	第55回あまがつ会人形展	諸工芸
9.2～9.4	第17回小按会織物展志村ふくみ門下生による	染 織	3.14～3.18	佐々木光夫・能面展	諸工芸
9.21～9.25	面法会 能面・狂言面展	諸工芸	3.14～3.18	第25回面風會展 能面・狂言面	諸工芸
9.21～9.25	光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合	3.14～3.18	第18回新日美京都支部展	美術総合
9.21～9.25	第12回 dpi展	写 真	3.16～3.18	面匡会第21回京都能面展	諸工芸
9.29～10.1	絵更紗美術協会 会員作品展	染 織			

計 35件(78日間) 31,944人

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	4	1	9	6	0	2	3	0	7	3	0	35
構成比(%)	11%	3%	26%	17%	0%	6%	9%	0%	20%	9%	0%	100%
入場者数	2,774	578	6,123	7,323	0	1,010	1,791	0	6,117	6,228	0	31,944
1件平均入場者数	694	578	680	1,221	0	0	597	0	874	2,076	0	913

*諸工芸には、彫刻・能面・人形・七宝・漆芸を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2011 7.9～7.18	第29回 明日をひらく 絵画 上野の森美術館大賞展<リニューアルオープン記念>	洋画	1,273
	7.20～7.24	ドールシンフォニー in Kyoto vol.3 <リニューアルオープン記念>	諸工芸	1,050
	8.4～8.7	「十人十色 百華百耀」栄美子戸田ローブとニューゼファーズ	諸工芸	1,136
	9.1～9.4	プレール 上田ミチヨ ソーイング教室展	諸工芸	334
	9.16～9.19	第19回森小夜子人形教室展～江戸時代に学ぶエコ生活	諸工芸	2,446
	9.16～9.19	京都平安花倶楽部20th押花アート展	諸工芸	1,499
	10.7～10.10	雪秀会 能面展	諸工芸	427
	10.7～10.10	第二十八回 龍雲会書展	書	701
	10.7 10.10	書・花展 原田伸郎・西原松園	書	1,044
	10.7～10.10	2011 京都大学写真部OB会 第7回京都展	写真	545
	10.13～10.16	ベル フォーム シャドーボックス展	諸工芸	861
	10.29～11.6	KYOTOきものパーティランド：現代のきもの「染と織の美」	その他	2,278
	11.10～11.13	第45回記念心象書展	書	1,160
	12.8～12.11	日中友好第7回博雅社書畫精品展	書	560
	12.13～12.18	上杉満生遺作展	染織/染色	1,060
	12.20～12.23	日中交流・第6回古都(湖都)百景芸術大賞	(美術)総合	360
	12.20～12.25	森田晴樹日本画展	日本画	359
	1.6～1.9	沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,142
	1.13～1.22	第24回京都美術文化賞受賞記念展 山本容子・小林尚美・森村泰昌	(美術)総合	2,871
	1.25～1.29	花とHaco展 HaruBagを中心としたオリジナル箱いろいろ	諸工芸	535
2.15～2.19	京都工芸繊維大学 造形工学課程 卒業制作展2012	(美術)総合	1,440	
3.1～3.4	招き猫展 市瀬俊治	諸工芸	638	
3.2～3.4	第25回全国シルバー書道展	書	1,180	
3.8～3.11	ヒツジパレット2012京都	諸工芸	6,505	

計24件 使用日数：119日

31,404

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
6階	2011 7.9 ~ 7.18	写真家ヒロセマリコ～30年の軌跡～<リニューアルオープン記念>	写真	1,793
	8.5 ~ 8.7	(財)片山家能楽・京舞保存財団 第15回 能装束・能面展	(工芸)総合	1,279
	8.13 ~ 8.14	黒川健次作品展「晴走雨刻 道」	諸工芸	538
	9.13 ~ 9.19	玉村咏展「清爽風姿」	染織/染色	581
	10.19 ~ 10.20	第39回シニア大学学園文化祭	(美術)総合	444
	10.22 ~ 10.23	琴嶺会書展	書	421
	10.29 ~ 10.30	KYOTOきものパーティランド2011	その他	360
	11.5 ~ 11.6	KYOTOきものパーティランド2011	その他	720
	11.12 ~ 11.13	第十四回竹心展	書	332
	11.12 ~ 11.13	叡山学院墨跡展	書	245
	11.20	きもの文化・公開講座	その他	323
	11.25 ~ 11.27	第49回龍門社選抜書道展	書	1,082
	12.10 ~ 12.11	第11回いづみ会書道展	書	645
	1.8	にいみお習字教室書初展	書	234
	1.13 ~ 1.15	米田孝雄水墨展	日本画	382
1.24 ~ 1.25	匠・双美会 明日に煌めく加賀友禅物語	染織/染色	350	
2.15 ~ 2.19	京都工芸繊維大学大学院デザイン科学専攻・造形工学専攻修了制作展	(美術)総合	1,226	
計17件 使用日数：51日				10,955

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術								工 芸					美術 工芸 総合	総計
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金工・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	1	1	6	1	1	3	13	1	-	10	-	11	-	24
	日数	-	6	10	23	4	9	19	71	6	-	42	-	48	-	119
	人数	-	359	1,273	5,787	545	2,278	4,671	14,913	1,060	-	15,431	-	16,491	-	31,404
6階	件数	-	1	-	4	1	5	2	13	2	-	1	1	4	-	17
	日数	-	3	-	8	10	9	7	37	9	-	2	3	14	-	51
	人数	-	382	-	1,893	1,793	2,469	1,670	8,207	931	-	538	1,279	2,748	-	10,955

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展示会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所	和装呉服	染織	美術	工芸	その他	計	
5階	件数	3	1	-	1	1	6
	日数	6	1	-	3	2	12
	人数	250	935	-	2,142	150	3,477
6階	件数	16	-	-	1	-	17
	日数	28	-	-	3	-	31
	人数	1,400	-	-	529	-	1,929

*美術：日本画、洋画、書、写真など
*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

VI- 2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

ン、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

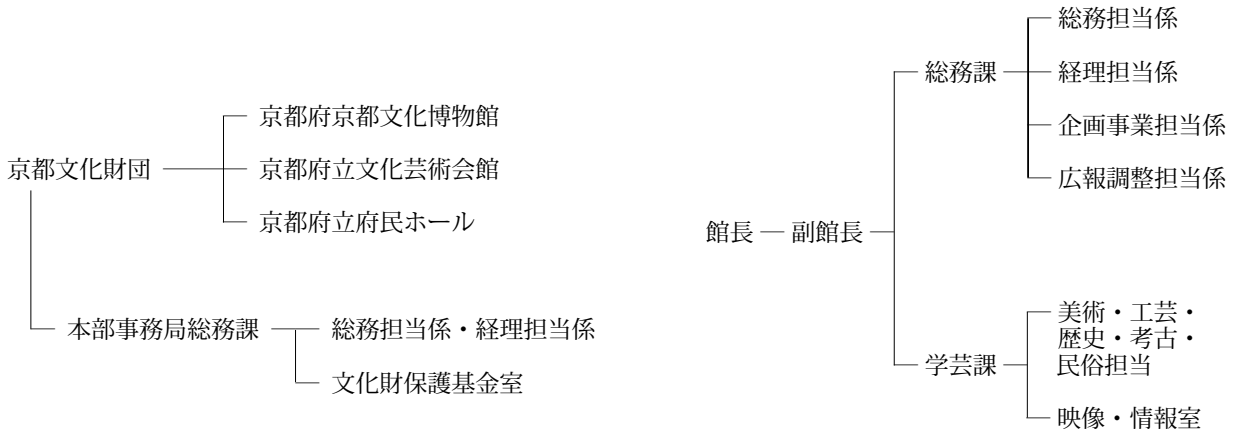
【別館利用状況一覧】

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2011.7.15	千綿偉功ワンマンライブ「京都宵酔一人唄」第貳唱～祈り～<リニューアルオープン記念>	12.15	プレス Christmas Night 2011
7.22～8.14	ヤン&エヴァシュヴァンクマイエル展 前期：the works for Japan <リニューアルオープン記念>	12.16	アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ ハインリッヒ・シュッツ作品「クリスマス物語」
8.19	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.33「ロマンティックな室内楽」	12.17	第29回レトワールプランシエ管楽合奏団演奏会
8.20	国民文化祭プレ企画 「夏休み！オモシロ映像ヤタイ祭!!まよまるも来るよ!!!」	12.18	京都室内合唱団 第16回定期演奏会
8.21	国民文化祭プレ企画・東日本大震災復興支援チャリティアニメ上映会 アニメ、東北に届けでおじゃるin京都	12.20	チェロとピアノのデュオ 長谷川彰子、田中絢子
9.4	旅する長崎学講座「海道の歴史―神々の島をゆく」	12.23	Music of Heart Vol.2
9.8	京ことばコンサート	12.24	Kine Kuro Musium X'mas Special
9.11	フェリックス室内合奏団 第23回演奏会	12.25	御所南ヴァイオリンスクール クリスマスコンサート
9.17	ナショナルトラスト	2012.1.7～8	色と香で綾取る科学と技術
9.19	JAZZ at Sanjo BUNPAKU AND 新風館	1.9	この愛しきものに～当間修一作品集CD・楽譜出版記念コンサート～
9.23～25	京都アートフリーマーケット2011秋	1.14	JMコンサート
9.27～10.2	京都工芸美術作家協会展 小品展	1.15	松下悦子門下生声楽発表会
10.7～10.23	ヤン&エヴァシュヴァンクマイエル展 後期：～映画とその周辺～<リニューアルオープン記念>	1.21	博物館の夕暮れ Ave Maria Museale ～歌とフルートによるジョイントコンサート～
10.28	アマデウスクラシック・ライブラリー 12 「上野真”巡礼の年”を弾く」	1.27	いきいき歌声サロン京都
10.29～10.30	KYOTOきものパーティランド2011	1.28～29	第4回JEUZIAミュージックサロン四条発表会
10.31～11.4	京都映像フェスティバル・文化庁メディア芸術祭	2.2	Henning Schmiedt Japan Tour 2012
11.5～11.6	KYOTOきものパーティランド2011	2.4～5	京都きもの道楽展 着物二恋スル季節展
11.8	平原誠之ピアノコンサート	2.7	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.35「室内楽の愉しみ」
11.15	第27回京都賞学生フォーラム「こころとかたち～こころを伝えるかたち かたちが支えるこころ～」	2.12	京都フランス歌曲協会設立20周年記念コンサート ドビュッシーとその周辺 ～ドビュッシーとヴェルレーヌ 雅な宴～
11.18～11.20	第13回佐々木真弓・アトリエエンジェルズステンドグラスランプ展	2.15～19	京都工芸繊維大学 大学院建築設計学専攻 第7回修了制作展
11.23	こどもと楽しむクラシックコンサート2011「小さな子供と大きな子供のための音楽会」	2.25	ウェディング
11.25～11.27	KPA「メイキング・ワークショップ2012」	3.3	第3回健康塾
12.1	没後50年記念 グレインジャー音楽祭2011 映画上映とピアノ・リサイタル	3.4	東日本大震災・タイ水害被災者支援チャリティーコンサート
12.2	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.34「近代の室内楽」	3.8～11	布花とシャドーボックス展 マイラグジュアリー
12.3	泉会「歌の花束」	3.16～18	100%Architects—建築家がつくる夢— 日本建築家協会近畿支部京都都会作品展2012
12.4	フランス歌曲協会創立20周年記念コンサート 「ドビュッシーとその周辺」第3回ドビュッシーとショーソン～ワグナーの影～	3.20	第1回JEUZIA PMC御池発表会
12.8	ハンドベルコンサート Joyful Bells 5周年記念コンサート	3.23～25	京都アートフリーマーケット2012春
12.9	西垣正信クリスマスコンサート	3.31	草の実青少年少女合唱団京都演奏会
12.11	Sorella ～姉妹で奏でる音の風景～		
			入場者数 計 98,799 人

VII 管理・運営

VII- 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【財団法人京都文化財団役員名簿】

2012(平成24)年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長		平林 幸子	京都中央信用金庫専務理事
	千 玄室	前茶道裏千家家元		深尾 憲一	弁護士
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
副理事長	山内 修一	京都府副知事		藤井 貢	京都府文化環境部国民文化祭推進局副局長兼文化芸術室室長
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長	監事	岡田 博邦	社団法人京都銀行協会専務理事
理事	小林 正幸	京都銀行常務取締役		光田 周史	公認会計士

【京都文化財団評議員名簿】

2012(平成24)年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	村井 康彦	財団法人京都市芸術文化協会理事長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	有馬 頼底	臨濟宗相国寺管長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		鶴田 憲次	洋画家
	今井 政之	陶芸家		名和 修	財団法人陽明文庫理事・文庫長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	上村 淳之	日本画家		日比野光鳳	書家
	大橋 通夫	京都府教育委員会委員長		増田 正蔵	京都新聞社相談役
	奥原 恒興	京都商工会議所専務理事		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2012年(平成24年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	財団常務理事・事務局長
	参与	鈴木 真咲	館業務総括補佐	財団常務理事・事務局長
総務課	課長	松尾 健一	課総括	財団本部事務局兼務
	総務課調査役	金田 暁	総務担当業務	財団本部事務局兼務
	総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務
	経理担当係長	宮本 幸樹	経理担当業務	財団本部事務局兼務
	企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	
	広報調整担当係長	磯野 真知子	広報調整担当業務	
	主任	杉浦 美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務
	主事	奥田 紀子	経理担当業務	財団本部事務局兼務
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	
	嘱託	渡辺 紀久子	企画事業担当業務	
文化財保護基金室	参事・文化財保護基金室長	松田 寛	基金事業庶務	財団本部事務局文化財保護基金室
学芸課	課長	畑 智子	課総括	
	課長補佐 学習普及連携室長 主任学芸員	洲鎌 佐智子	工芸	
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	
	学芸員	市川 彰	絵画	
	学芸員	横山 和弘	歴史・文献	
	学芸員	林 智子	染織	
	学芸員	植田 彩芳子	絵画	
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	
	学芸員	橋本 章	民俗	
	主査	植山 茂	考古・民俗	
	嘱託	大矢 敦子	映像・情報	
	嘱託	青木 完一	映像	

VII- 2 施設

1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築

事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.3㎡(別館を含む)

建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)

延床面積：15,854.7㎡(別館を含む)

本館床面積内訳：

地階……2,242.4㎡／1階……2,244.9㎡

2階……1,892.9㎡／3階……1,908.8㎡

4階……1,442.2㎡／5階……1,442.2㎡

6階……1,218.3㎡／7階……1,010.4㎡

塔屋……182.9㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル

菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月

～1906(明治39)年6月

延床面積：2,269.7㎡

別館構造：建築面積……819.7㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積……237.1㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

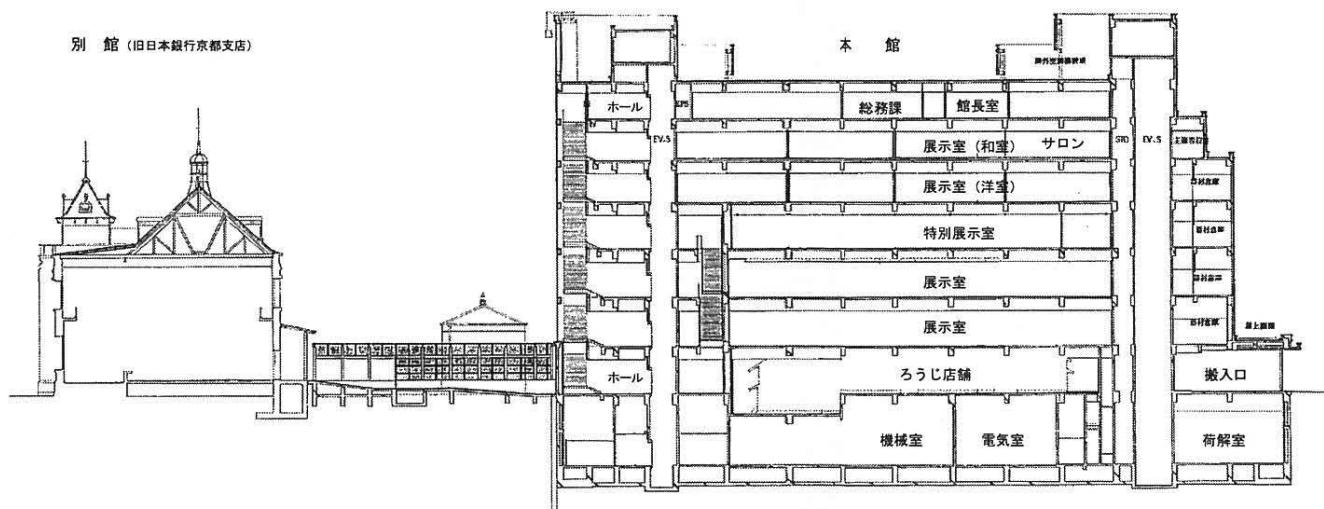
指定：重要文化財

指定名称 旧日本銀行京都支店

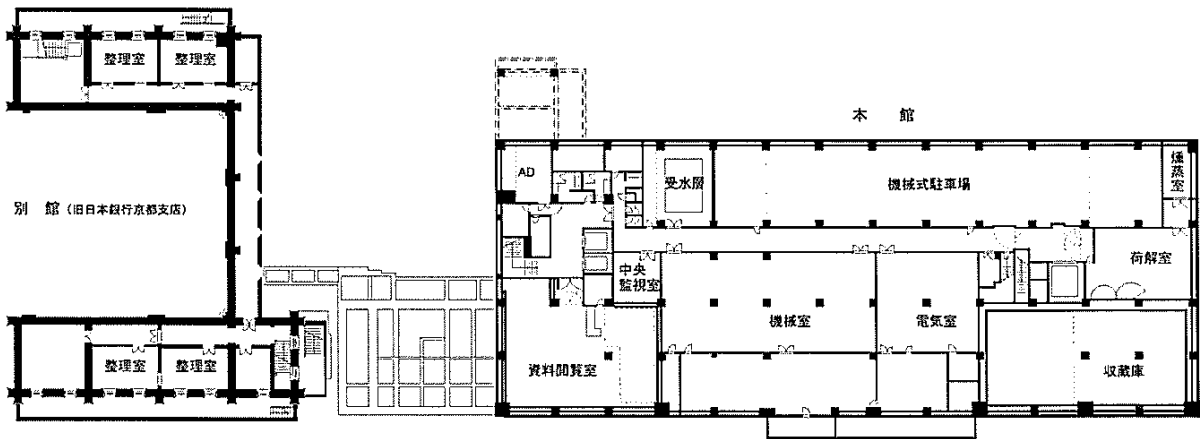
指定年月日 1969年3月12日

指定書番号 建第1,708号

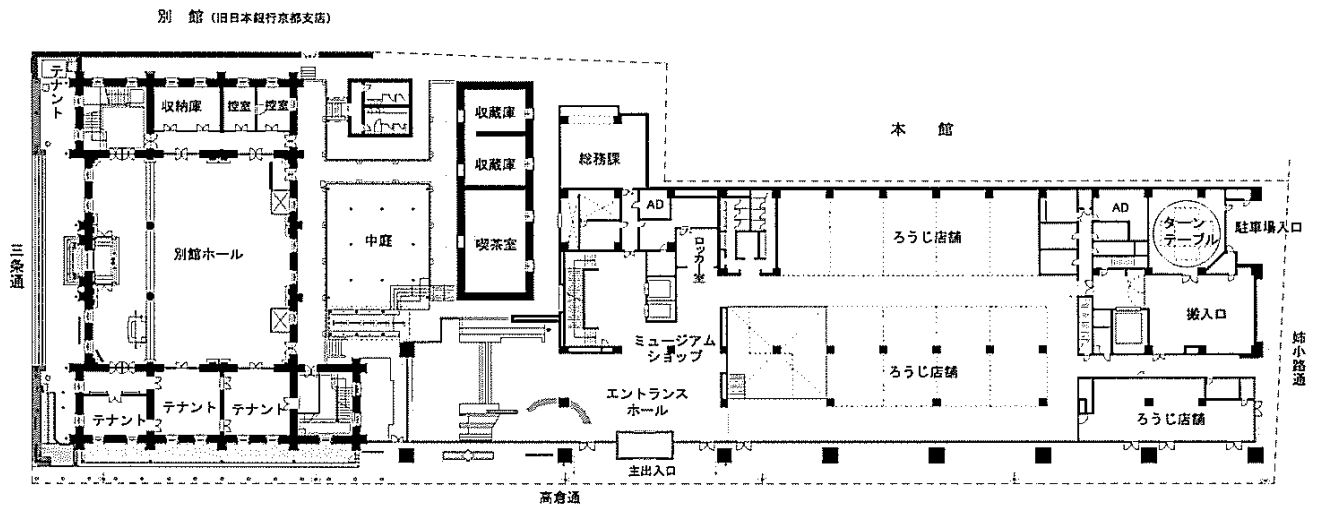
【京都文化博物館断面図】



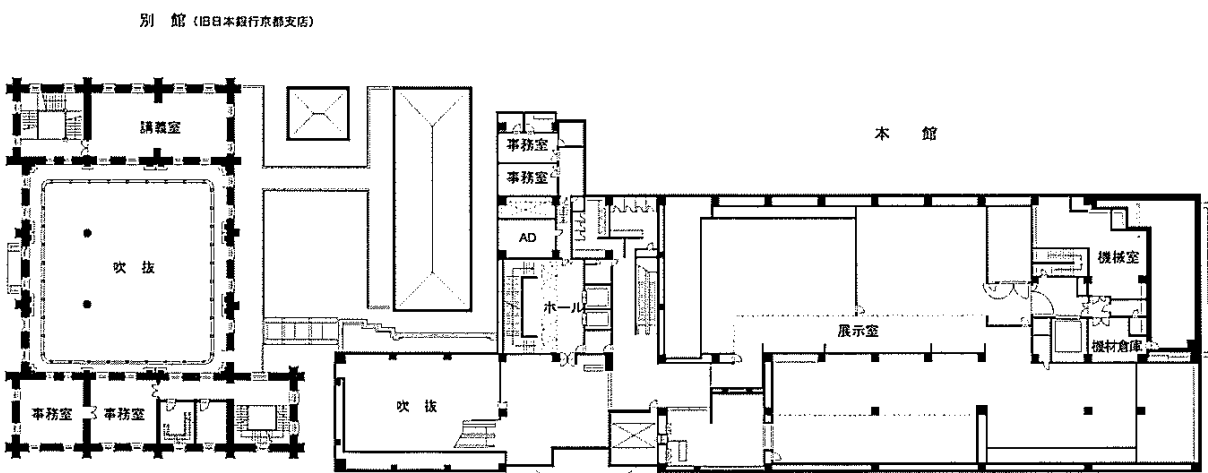
【京都文化博物館 地下1階平面図】



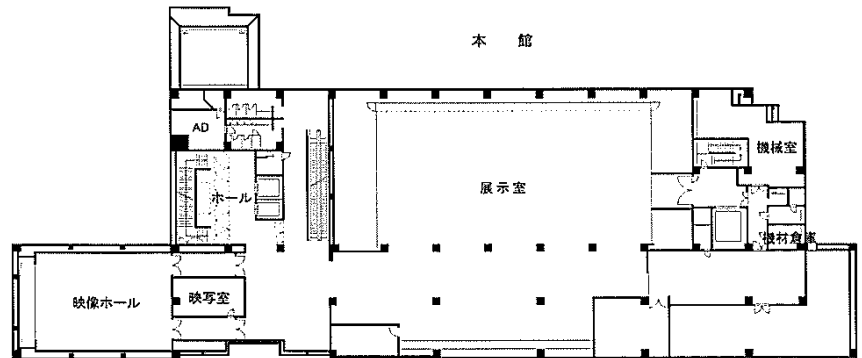
【京都文化博物館 1階平面図】



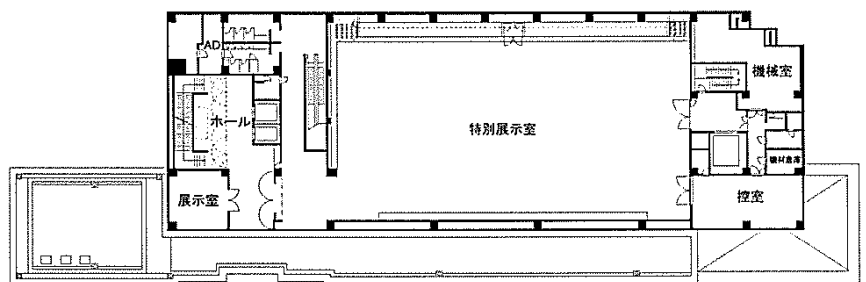
【京都文化博物館 2階平面図】



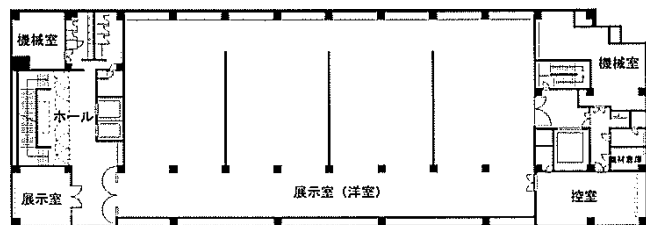
【京都文化博物館 3階平面図】



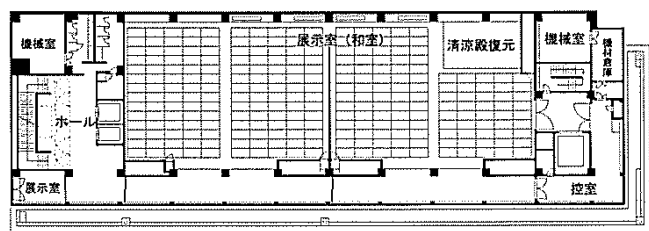
【京都文化博物館 4階平面図】



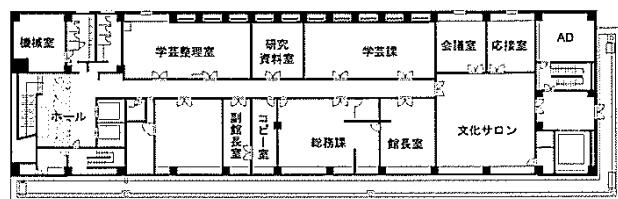
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII- 3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は153,810人であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◆和紙の店—楽紙館
- ◆京都和雑貨—菘軒
- ◆京のエッセンス16舗名店会(順不同)
 - 香老舗—松栄堂
 - 京麩—半兵衛麩
 - 京念珠—福永念珠舗
 - 京菓子—鼓月

京佃煮—野村
京扇子—とくの
八つ橋—井筒八ッ橋
京風雅便箋—表現社
ちりめん小物—くろちく
竹の匠—高野竹工
町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店

- ◆町家料理 鳥彌三あざみ
- ◆手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◆ゆば・とうふ料理—京乃雪本舗 有福
- ◆エスプレッソコーヒー—コロラドコーヒー
- ◆京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◆ミュージアムショップ—便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◆珈琲サロン—阿蘭陀館
- ◆Contemporary Art JARFO京・文博
- ◆アートギャラリー arton art gallery
- ◆和小物—くろちく
- ◆Social Design Café soboro

3) 博和会・ろうじ行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
販売促進活動	リニューアルオープンに合わせて割引券(100円券)の配布	2011年7月9日～8月21日
ろうじコンサート	リニューアルオープン記念ろうじコンサート&お楽しみ抽選会	2011年7月10日
ろうじ祭	秋期来客者増大キャンペーン(京の小袖展期間)	2011年11月12日～27日

【ろうじ店舗三条ウッドデッキの利用状況】

区 分	名 称	月 日
博和会催事	祇園祭宵山・巡行等に合わせたの販売 京丹山 楽紙館 井筒八ッ橋	2011年7月16日～7月18日

VIII 2011(平成23)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2011年		
7月9日	リニューアルオープン リニューアルオープン記念講演会「細川家の700年 文と武と美」	(細川護熙 / FT)
	【リニューアルオープン記念】「京都日本画家協会創立70周年記念特別展 日本画 きのう・京・あす」開催	(～8月21日 / 4・3階)
	【リニューアルオープン記念】総合展示「細川家 永青文庫コレクション1 細川家と京都」	(～9月4日 / 2階)
	【リニューアルオープン記念】総合展示「祇園祭一山鉾の名宝一」	(～10月2日 / 2階)
	【リニューアルオープン記念】「京都映画リクエスト上映と映画『祇園祭』上映」	(～8月3日 / FT)
	【リニューアルオープン記念】「ミュージアムコンサート&三条・中庭ウッドデッキイベント」	(AHほか)
7月10日	「日本画 きのう・京・あす」展講演会	(中路融人 / FT)
	【リニューアルオープン記念】「ろうじコンサート」	(ろうじ)
7月11日	音楽会「歴史と共に<音楽>を楽しむ 音楽会シリーズ・20 第1夜」	(AH)
7月12日	【リニューアルオープン記念】「東日本大震災被災者支援チャリティーコンサート」ぶんぱくミュージアムコンサート」	(13・14日 / AH)
7月16日	「日本画 きのう・京・あす」展出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
7月22日	「日本画 きのう・京・あす」展展示解説	(植田 / 4・3階)
7月23日	「日本画 きのう・京・あす」展出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
7月30日	「日本画 きのう・京・あす」展出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
8月2日	〈クールスポット〉の実施(2階総合展示・3階フィルムシアター無料公開) 博物館実習	(～31日) (～5日)
8月6日	「日本画 きのう・京・あす」展出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
8月12日	「日本画 きのう・京・あす」展展示解説	(植田 / 4・3階)
8月13日	「日本画 きのう・京・あす」展出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
8月20日	「祇園祭一山鉾の名宝一」記念講演会 「日本画 きのう・京・あす」展出品作家ギャラリートーク	(吉田孝次郎 / FT) (4・3階)
9月1日	総合展示「次代へつなぐ京都の工芸 I 新天地を求めた京焼～清水焼団地50年の歩み～」	(～19日 / 3階)
9月3日	「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」開催 「新天地を求めた京焼～清水焼団地50年の歩み～」シンポジウム	(～10月16日 / 4階) (中ノ堂一信ほか / AH)
9月4日	「新天地を求めた京焼～清水焼団地50年の歩み～」出品作家列品解説	(3階)
9月8日	総合展示「出土資料からみる平安京の世界」	(～11月13日 / 2階)
9月9日	「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」記念コンサート	(MAIKO・西川サトシ・中村葉子 / AH)
9月10日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝1」 「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」記念講演会	(～11月6日 / 2階) (佐々木丞平・佐々木正子 / AH)
9月11日	「新天地を求めた京焼～清水焼団地50年の歩み～」出品作家列品解説	(3階)
9月13日	音楽会「歴史と共に<音楽>を楽しむ 音楽会シリーズ・20 第2夜」	(AH)
9月16日	「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」展示解説	(市川 / 4階)
9月18日	「新天地を求めた京焼～清水焼団地50年の歩み～」出品作家列品解説	(3階)
9月23日	京都アートフリーマーケット2011秋 「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」講演会 「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」展示解説	(24・25日 / 別館ほか) (市川 / FT) (市川 / 4階)
9月27日	総合展示「創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～」 小品展「創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～」	(～10月16日 / 3階) (～10月2日 / AH)
10月1日	「創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～」出品作家作品解説	(3階)
10月7日	「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展」展示解説	(市川 / 4階)
10月8日	「創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～」出品作家作品解説	(3階)

月 日	事 項	
10月10日	「創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～」出品作家作品解説	(3階)
10月12日	総合展示「祇園祭―北観音山の名宝―」	(～2012年1月9日/2階)
10月14日	「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズギター・コレクション展」展示解説	(市川/4階)
10月15日	「創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～」出品作家作品解説	(3階)
10月28日	皇太子殿下ご来臨	
10月29日	国民文化祭・京都2011 (～11月6日)	
	国民文化祭関連事業「京の小袖―デザインにみる日本のエレガンス―」展開催	(～12月11日/4・3階)
	国民文化祭関連事業「京都映像フェスティバル」文化庁メディア芸術祭 京都展	(～11月6日/FT・AH)
	「京の小袖」展講演会	(切畑健/FT)
11月4日	「京の小袖」展展示解説	(林/4・3階)
11月5日	三条高倉まちかどミュージアム	(～27日)
11月8日	京の至宝と文化「御服から見る戦国のお江の時代―」記念映画上映「お江の生きた時代を描く」	(～30日/FT)
11月10日	総合展示「金剛家の名宝」	(～12月4日/2階)
	音楽会「歴史と共に<音楽>を楽しむ 音楽会シリーズ・20 第3夜」	(AH)
11月11日	「京の小袖」展展示解説	(林/4・3階)
11月12日	オータムミュージアムコンサート	(13日/AH)
11月17日	総合展示「御服から見る戦国の京―お江の時代―」	(～12月18日/2階)
11月25日	「京の小袖」展展示解説	(林/4・3階)
11月26日	「京の小袖」展講演会	(林/FT)
12月7日	総合展示「京都府コレクション 池大雅展」	(～2012年1月29日/2階)
12月9日	「京の小袖」展展示解説	(林/4・3階)
12月21日	総合展示「古代学協会所蔵 古文書・古典籍の世界」	(～2012年2月19日/2階)
2012年		
1月4日	「京都府美術工芸新鋭展～2012京都美術・工芸ビエンナーレ」	(～1月19日/4・3階)
1月7日	「京都府美術工芸新鋭展～2012京都美術・工芸ビエンナーレ」出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
1月13日	総合展示「祇園祭―船鉾の名宝―」	(～3月25日/2階)
1月14日	「京都府美術工芸新鋭展～2012京都美術・工芸ビエンナーレ」出品作家ギャラリートーク	(4・3階)
2月1日	「ホノルル美術館所蔵 北斎展 葛飾北斎生誕250周年記念展」開催	(～3月25日/4階)
2月2日	総合展示「細川家 永青文庫コレクション2 大名文化の華 能」	(～4月1日/2階)
2月4日	総合展示「京都府コレクション 麗しの京美人展」	(～3月25日/3階)
	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」記念落語会	(月亭八方・笑福亭円笑ほか/6階)
2月5日	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」記念講演会	(岸文和/FT)
2月10日	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説	(市川/4階)
2月18日	ぶんぱく子ども教室 第1回「私の百鬼夜行絵巻 ワタシのモチモノ、ワタシのキモチ」	(山本みどり・西山/AL)
2月19日	ぶんぱく子ども教室 第2回「教えて考古学 拓本教室」	(村野/2階作業室)
2月22日	総合展示「雛人形名品展」	(～4月8日/2階)
2月24日	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説	(市川/4階)
2月25日	ぶんぱく子ども教室 第3回「のぞいてみよう世界のごはん! たべてほしいな京都の味!!」	(佐藤友紀・村野/2階作業室)
2月26日	ぶんぱく子ども教室 第4回「ぶんぱくでひな祭り～おひな様のお話と工作～」	(ボランティアスタッフ/2階作業室)
2月28日	音楽会「歴史と共に<音楽>を楽しむ 音楽会シリーズ・20 第4夜」	(AH)
3月2日	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説	(市川/4階)
3月3日	ぶんぱく子ども教室 第5回「館内ぐるぐる探検ツアー」	(ボランティアスタッフ/館内全体)
3月11日	「祇園祭―船鉾の名宝―」記念講演会	(藤井健三・土田勝/FT)
3月16日	「ホノルル美術館所蔵 北斎展」展示解説	(市川/4階)

京都文化博物館2011(平成23)年度年報

発行日 2012年10月31日

編集・発行 京都府京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL：075-222-0888

FAX：075-222-0889

印刷 (株)吉川印刷工業所

〒601-8353 京都市南区吉祥院這登中町45-1

TEL：075-691-8186